

幼兒の教育



號六第 號月六 卷一十四第

內校學範師等高子女京東

會協園種幼本日

東京女子高等師範學校附屬幼稚園編

(再版)

觀察の實際

菊判 一三〇頁

定價 金壹圓

送料 東京 金六錢
市內 金六錢
其他 金九錢

○觀察の實際については何か参考したいといふ御希望は皆様から常に伺ふ所、本書はその爲に最も適切親切なる書である。

日本幼稚園協會編

幼稚園談話集 (四版)

東京女子高等師範學校附屬幼稚園編

系統的保育案の實際 (四版)

幼児の教育 (月刊)

菊版三五〇頁 定價 金壹圓五拾錢

送料 東京 金六錢
市內 金六錢
其他 金九錢

定價 金壹圓
送料 金六錢

一ヶ月 金參拾五錢 送料 金一錢
一ヶ年 金四圓貳拾錢 送料 共

今年の保育講習會

今年は文部省主催の保育講習會は開催せられないといふことに漏れ聞きました。よつて本會主催で左記の通り開催いたします。

期間 七月二十二日から二十六日まで五日間 毎日午前八時から午後四時まで

會場 東京女子高等師範學校講堂

科目 本年は特に國民學校の教育に對する保育者としての理解に主點を置き、倉橋主幹の總説の外、國民科、理數科、藝能科音樂等に就て各専門權威のお話を伺ふことゝします。更に戸倉講師の

新遊戯・及川講師の新技术は例年の通り會員諸君に有益なお土産を頒ち得ることゝ信じます。

會費 金 五圓

申込 御希望の方は七月十日までに本會講習會係宛て（東京市小石川區大塚町東京女子高等師範學校附屬

幼稚園内 日本幼稚園協會）講習料を添へお申込み下さい。

宿泊 例年の通り本校寄宿舎の見込み

鐵道割引特典 三割引の特典があります。

尚ほ詳細は印刷物を御送り致します。

昭和十六年六月

日本幼稚園協會

最新刊
裝幀波多野里望

母の子の供

子の供の國

波多野勤子

B6判 二八頁
定價 一圓五十錢
送料 十錢

子供と綴方
子供をよくする第一條件
子供と幼稚園
子供と幼稚園
偏食を直す
子供の社會生活
國民學校へ上る前
母の立場から
母の子供國の子供
とき保母さん
今後の教育
心の調練
看過される御曹
子供への教養
修身の教へ方
國民學校生徒の保護
子供と職業
子供と結婚

母と保母の寶典ノ國民學校に對
應して幼兒教育の妙諦を語る書

國民學校制の實施と共に幼兒教育の使命は益々重大となりました。本書は波多野完治氏夫人であり自らも優れた兒童心理學者である著者が二人の愛兒の母としての切實な體驗を基とし、綴方、圖畫の指導に、衣食住の訓練に、或は心身の鍛練に、あらゆる興味深い記録、調査を驅使して幼兒教育の妙諦を述べたものであります。

内容抄記

殊に「母の立場から」「よき保母さん」の如きは世の母心を代表して幼兒教育者に懇へる母の言葉であります。

その他、園兒の自由畫からその性格を説明した報告、幼兒の職業觀調査など、實に本書は保育者必携の寶典といふべきです

平野婦美子 價二・〇〇 送一・〇〇

女教師の記録

文部省推薦 東寶映畫化

眞摯な一女教師の教育記録。漁村—小都市—東京の工業地、三つの環境で彼女は、どう國民教育に取組んだか？ 凡百の素人文學とは隔絶する愛とまごころの生活ノボルタマジユ。

城戸幡太郎・波多野完治・百田宗治監修

兒童文化上下

專門五十餘氏の分擔執筆 各 價二・五〇
兒童文化の體系的的研究書 送 一・一四

上「總論・國語・文學・繪畫・音樂・舞蹈・海外事情」
下「總論・科學・演劇・映畫・放送・創作・幼兒の生活」
活々文化・學界の生活文化

内容見本申込次第進呈

東京・神田・小川町一ノ五

圖書目錄進呈

西村書店

振替東京一六四八六四

第二回保育問題研究發表會

趣旨 東亞新秩序の建設は次代を擔ふ幼兒に期待する處が大であります。その幼兒の保育に當るものは、自らの使命に光輝ある歴史の意義と信念をもち、たゆまぬ努力向上にいそしまねばなりません。われわれはこゝに第二回の研究發表會を開催し、日常の實踐、研究の成果を互に交換し、切磋琢磨したいと存じます。汎く保育關係者の參加を切望する次第です。

一、期 日 七月二十五日(金)、二十六日(土)、二十七日(日) 三日間
午前八時より午後四時まで

二、場 所 東京市麴町區三年町一番地 社會事業會館

三、會 費 二圓 但し會員は半額
四、申 込 七月二十日までに東京市麴町區富士見町 法政大學兒童研究所内 保育問題研究會に
申込むこと
申込用紙御請求下さい(三錢切手封入)

五、日 程

第一日	第二日	第三日
<p>開會式 講演 留岡 清男氏 保姆に想ふ</p>	<p>研究發表 兩親教育及隣保育に關する部會 司會 城戸 幡太郎氏 浦邊 史氏</p>	<p>研究發表及協議會 國民學校と就學前教育 司會 山田 清人氏 三木 安正氏</p>
<p>研究發表 保健及び賤に關する部會 司會 齊藤 文雄氏 山下 俊郎氏</p>	<p>研究發表 兒童文化及保育技術に關する部會 司會 百田 宗治氏 松葉 重庸氏</p>	<p>講演 生活指導者としての保姆 城戸 幡太郎氏</p>
閉會式		

六、研究發表について

研究發表といつても固くならないで、日常實際に行つてゐることを纏めて報告して下されば結構です。題目も部會の名にこだわらず、御申込下されば、當方にて適當な部會に配置いたします。研究發表は一人十五分前後、挨拶は抜きにして、事實を重んじて下さい。研究發表申込は七月十五日まで發表要旨を千字以内にて認めて提出して下さい。發表された研究は適當に取纏めて發刊する豫定です。

七、研究發表の内容

日程表にある部分については別に説明を要しないと思ひますが、第二日の両親教育と隣保保育といふところでは、母の會の經營の問題とか、家庭との聯絡についてとか、又農村の保育問題、隣組子供會といつた問題等、兒童文化と保育技術といふところでは、幼兒の爲めの音楽、童謠、繪本ラジオ、紙芝居、玩具、手技、遊戯等の研究又は實踐報告等が含まれます。

八、協議會

今年度より實施された國民學校と幼稚園、託兒所との關聯を、例へば躰とか、觀察(理科)とか、音感教育といつた面で、或ひは一般に兩者の關聯について、國民學校側と幼稚園・託兒所側からそれぞれ報告し合ひ、協議するもので、從來小學校と幼稚園・託兒所とが兎角疎遠であるやうなうらみがあつたのを兩者から反省し、協力し合はふといふ試みであります。

九、その他

會期中の一夕を懇親會、或は文化映畫の夕とする豫定です。

(なほ詳細は會宛お問合せ下さい)

東京市麴町區富士見町

法政大學兒童研究所内

保育問題研究會

第十三回保育夏期講習會

主催 佛教保育協會

理論よりも實際に重きを置き「皆さんの講習會」を目標として昭和四年夏以來一回も休まずに開催して参りました。本會主催保育夏期講習會は昨年は講師、科目、及び會場等に於て特に皆様の御期待に添ふことが出来ました爲か定員を超過すること二百餘の六百餘名の多數をお迎えすることが出来まして全く感謝の外ありません。本年も亦皆様の御意見を參考として左記の通り講師、科目を決定し會場も昨年同様交通其の他に最も便利な帝都の中心地「銀座、泰明國民學校」に選びました。何卒本年も多數御誘合の上御來會の程お待ち申しております。

要 項

一、期 日 昭和十六年七月廿七日より卅一日まで五日間（毎日午前八時より午後四時まで）

一、會 場 東京市京橋區西銀座數寄屋橋畔

東京市立泰明國民學校

◇市電、市バス、青バス……數寄屋橋（日本劇場前）下車
 ◇地下鐵……銀座驛下車 約二丁
 ◇省線……有樂町驛下車 約一丁

一、講師及科目

一、國民學校に對し改良すべき保育の諸問題（二時間）

一、保育と臣道實踐（二時間）

一、幼兒と保健（二時間）

一、新禮法と保育（二時間）

東洋大學 教授	關 寬	之先生
本會保姆養成所 教頭	前大正大學 長	大 森 亮
淺草寺 貫主	醫 學 博 士	竹 內 薰
岸 田 國 士	大政翼賛會文化部長	大 森 亮
		兵 順 先生
		士 先 先生

一、談話の新理念と保育紙芝居(二時間)

本會保姆養成所講師
聖美 幼稚園長

内山憲尚先生

一、幼兒唱歌指導(四時間)

本會保姆養成所講師

四家文子先生

一、廢物更生新特技(六時間)

本會保姆養成所講師
タンダバツハ舞踊研究所長

卜部たみ先生

一、幼兒遊戲指導(十三時間)

本會保姆養成所講師
榎舞踊研究所長

賀來琢磨先生
榎健次先生

(イ)國民保育に於ける幼兒體育遊戲(九時間)

一、講習料 金 參圓

一、定員 四百名

一、申込所 東京市淺草區淺草公園淺草寺幼稚園内
佛教保育協會夏期講習會事務所

一、申込期限 七月二十日迄(但し定員超過の場合は期日前に切ることがあるかも知れません)

一、宿泊 一泊二食付金壹圓五拾錢にて左記場所を御紹介致します

一、東京市京橋區築地三丁目一、築地本願寺宿泊部

二、東京市小石川區大塚坂下町、護國寺音羽洋裁女學院寄宿舎

注意 一、宿泊場所は申込先着順により割當決定いたします
二、宿泊希望者は一日三合の割合にて宿泊豫定日数だけの米を御持参下さい

一、鐵道割引 鐵道旅客運賃割引率の改正により割引が最高となりました、従つて本講習會に参加せらるゝ方に限り「鐵道參割引」の特典が與へられます

一、講習證書 講習終了者には修了證書を授與いたします

その他詳細は左記事務所へ御照會下さい

東京市淺草區淺草公園淺草寺幼稚園内

佛教保育協會夏期講習會事務所

電話 淺草 04) 三三三〇〇番
振替口座東京 七八六六七番

保育夏期講習會

主催 帝都教育會附屬教員保姆傳習所
後援 帝都教育會附屬教員保姆傳習所 保母科同窓會

要項

一、期間 昭和十六年七月二十八日ヨリ三十一日マデ四日間

(毎日午前八時ヨリ午後四時迄)

一、會場 東京府女子師範學校講堂

(東京市小石川區竹早町八番地 市電 市バス 同心町下車)

一、科目と講師

(一)國民學校と幼児保育(二時間)

東京府女子師範學校校長 帝國教育會附屬教員保姆傳習所講師

加藤覺亮先生

(二)保育者の修養(一時間)

法政大學教授 交津中 城戸幡太郎先生

(一)幼兒を語る(二時間)

東京府女子師範學校教授 帝國教育會附屬教員保姆傳習所講師

中野佐三先生

(一)幼稚園談話法(一時間)

東京府女子師範學校教授 帝國教育會附屬教員保姆傳習所講師

井部正先生

(一)童話の實際(二時間)

東洋家政女學校校長 東洋幼稚園園長

岸邊福雄先生

(一)幼兒體操(二時間)

厚生省體育官

森秀先生

(一)板畫及略畫(二時間)

東京府女子師範學校教授 帝都教育會附屬教員保姆傳習所講師

八木悌二先生

(一)幼兒の榮養食(二時間)

暖病醫院食養部主任 前日本女子大學教授

芦澤千代先生

(一)音樂

一、音感教育に就て(二時間)

東京府女子師範學校教授 帝國教育會附屬教員保姆傳習所講師

大和田愛羅先生

一、童謡唱歌の歌ひ方と指導法(二時間)

東京女子高等師範學校教授

平井美奈子先生

(一)幼兒に喜ばれる新手法(二時間)

帝國教育會附屬教員保姆傳習所講師

松石治子先生

(一)童謡舞踊(七時間)

島田兒童舞踊研究所長 帝國教育會附屬教員保姆傳習所講師

島田豊先生

(二)研究發表(一時間)

實際保育に従事せらるゝ保姆諸姉の貴重な體験談があります。

申込方法

金參園也(出席の際御納め下さい)

一、講習料 保母並に幼稚園關係者

二、資格 參百名

三、定員

東京市小石川區竹早町八番地 東京府女子師範學校内 帝國教育會附屬教員保姆傳習所

保育夏季講習會事務所(電話小石川七八九)

七月二十五日迄(但し定員超過の場合は期日)

一、申込期日 七月二十五日迄(前に締切ることあります)

一、宿泊 一泊二食付金貳圓五拾錢也にて宿舍を御世話致します。御希望の方は早目に前以て御申込下さい。

一、講習證 講習修了の方に授與致します。

師講所習傳姆保員教屬附會育教都帝

著名二生先子治石松

書携必の師諸姆保し際に年學新

幼稚園託兒所の必備書

實際保育の要領

四六割・二四〇頁
價 一圓三十錢
送料 十錢

多くの保姆先生の中には理論には長けて居るが少しも實際の役に立たぬと云ふ人がある。之は確かに實際の経験が少い爲めに保育の要領が呑み込めないからである。保育の實際問題として種々雑多な事が起つて來るがそれを一々聞いて歩くのもいやだし、書物にも書いてない。仕方がないからその儘濟して了ふと云ふ人々が多い。斯う云ふ人々の爲めに著者が十數年の保育の體驗から割出したのが本書である。

幼兒教育界へ贈る新研究

幼稚園 自由遊び

四六割・一七〇頁
價 一圓二十錢
送料 十錢

自由遊びは保育への出發點である。保育への誘導も容易ではなからうか。即ち重要な此の道を餘りにも氣付かなかつたのではないか。著者の此の新研究發表を見よ。

大日本出版社文峯莊

東京市神田區樂町二番八
東京市神田區三番四番

倉橋惣三著
 育ての心
 東京、神田區駿河臺三丁目六
 刀江書院
 定價 一、五〇〇、一四
 送料

倉橋惣三著
 幼稚園保育法眞諦
 東京、神田區神保町一丁目六七
 東洋圖書株式會社
 定價 二、八〇〇、一六

倉橋惣三共著
 新庄よしこ著

日本幼稚園史
 三、八〇〇、二〇
 同上

倉橋惣三著
 幼稚園雜草
 東京、日本橋區、大傳馬町
 内田老鶴圃
 定價 二、五〇〇、一四

日本幼稚園協會編
 幼兒に聽かせるお話
 三、八〇〇、一四
 同上

日本幼稚園協會編
 幼兒の樂しむお話
 二、八〇〇、一四
 同上

最新
 作曲
 幼稚園唱歌集

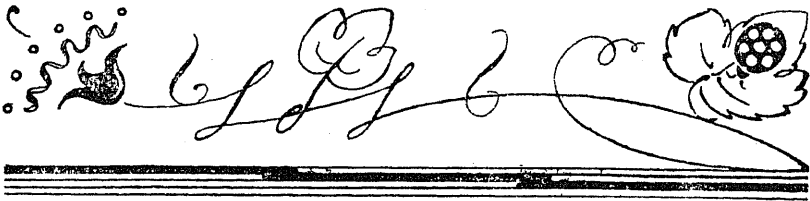
定價 六一錢
 送料 一圓
 發行所 日本幼稚園協會

目次

一、コッキフレ	倉橋惣三作詞	十二、たんぼぼ	大森敏子作曲
二、幼稚園のお庭	倉橋惣三作詞	十三、すずめ	高城富貴子作曲
三、だるまさん	井上正子作詞	十四、チュウ	高城富貴子作曲
四、お洗濯	小松多雄作詞	十五、春が来た	久保政子作曲
五、汽車	相田千草作詞	十六、貝拾ひ	池田孝二作曲
六、雲よ降れ降れ	梁田晋平作詞	十七、うさぎ	高城富貴子作曲
七、煙	中山繁二作詞	十八、七五三	高城富貴子作曲
八、てんととう蟲	津村満喜子作詞	十九、鬼ごっこ	高城富貴子作曲
九、春	清水あき作詞	二十、お母さま	高城富貴子作曲
十、お憲の雨	吉田つとむ作詞	廿一、てんてん	高城富貴子作曲
十一、小鳥のおはなし	伊藤武土作詞	廿二、おんまり	高城富貴子作曲
	杉山龍太郎作詞	廿三、おの野	高城富貴子作曲
	弘山米子作詞	廿四、花	高城富貴子作曲
	高城富貴子作詞		

最新
 作曲
 幼稚園唱歌集の第二版が出来ました。本會宛てて
 しく御注文下さい。御注文の際は是非前金にてお申し込
 み下さい。

日本幼稚園協會



第 一 十 四 卷 幼 兒 教 育 第 六 號

— (次 目) —

國民幼稚園の名に於て(五)	倉橋惣三(一)
一 幼児に於ける社會的行動の發達	久米京子(二)
カズノホンを中心にして鹽野圖書監修官の 教へを乞ふ座談會(二)	三木安正(三)
人口政策と國民幼稚園	堀七藏(七)
な あ ぜ ?	上澤謙二(二三)
毎日の保育問題	藤野井行仁(二六)
時局下に於ける私立幼稚園關係者の覺悟	及川ふみ(三)
國民學校の實施にともなつて	留岡よし子(三)
經驗者の言	松村茂(毛)
各地保育會の活動 北九州保育會概況	記 者(四)
東京保育界の兩先人、河合千代先生・由良せき先生	
フレイベル賞入選童話	
お 約 束	河上フミ(四)
僕の友達	毛利家(四)
ミツケタ	加茂幸子(四)
雨の日に	清水光子(四)
八百屋遊び—誘導保育の主題—	岩本ミよ(四)
月刊「幼児の母」に就て	
幼児の母	(五)

倉橋惣三編 (新刊)

新體幼稚園唱歌

四六倍判
定價 (送料共)

金七拾錢

目 日本の旗日の丸の旗
交 道 ぶ し ん
倉橋惣三 作詞
小松耕輔 作曲
倉橋惣三 作詞
井上武十 作曲

いうびんやさん
渡し場の船頭さん
火消しのちぢさん
倉橋惣三 作詞
弘田龍太郎 作曲
倉橋惣三 作詞
中山晋平 作曲
倉橋惣三 作詞
小林つや 作曲

日本幼稚園協會編 (新刊)

幼稚園新唱歌

四六倍判
定價 (送料共)

金五拾錢

目 だ か
小山村きよ 作詞
小松耕輔 作曲
小杉山來子 作詞
小松耕輔 作曲

ほ た る
青山綾子 作詞
小松耕輔 作曲
ふ し ん 場
小原銀 作詞
小松耕輔 作曲

○この二つの新刊幼稚園唱歌集は、幼稚園の爲に新しい歌曲を求めて居らるゝ方々に必ずや充分歡迎せらるることを期待してゐる。



初夏の夕暮の縁日に、店をあげてゐる金魚屋だそうである。列べた平桶の水のおもての何んと涼しげなことか。そこへ金魚の眞紅の何んとくつきりと生きてゐることか。同じ水色の服に薄桃色のスカートは、美術家自身と察せられるが、目鼻なんか更めて附けないでも、金魚に見とれて立止つてゐる心もちは、はつきり出てゐる。又ゴム長に身づくろひながらも、買へどもいはずに自分の金魚を眺めてゐる金魚屋も涼しげである。さてその全景を横に貫く天びんぼうは、臆病な藝術家では、一寸眞似の出来ない大膽な手法でないか。それも當然、及川さんの感心しての報告によると、九時十分から十時十分まで、かつきり一時間も根氣をつめた大力作だつたそうである。

(倉橋生)

て於に名の園稚幼民國

絡連きし正のへ校學民國(五)

三 惣 橋 倉

國民學校に於ては躰が大に重んぜられてゐる。その細目的内容はいろいろであるが、要するに、生活の態度を所作が、それ／＼の正しい慣性に仕上げられることである。今までの小學校が放縱であつたといふ譯ではないが、或は知能の發達に重きが偏せられて、生活の躰けられ方がつい足りなかつたり、或は特殊の作法は教へられても、生活そのものゝ訓練までは届いてゐなかつたり、或は時には、教育的自申主義の誤謬に於て、行動が亂雜に放任せられたりさへした。それに對し、兒童の生活の態度所作が、正しい制約の下に整へられやうとするのである。その必要なること言ふまでもない。しかも、躰は要するに生活が正しく慣性づけられることであるから、一日の内的一部分だけである學校のみでよくし得るものでない。

そこで、國民學校に於ては、此點特に家庭との連絡協力を強調してゐる。

ところが茲に最も大切なることは、かうした、生活の慣性づけが、就學と共に突如として開始せられることの不自然さである。その爲に、躰けの方法上に無理が伴はざるを得なかつたり、更に、躰けが眞實にその子の生活のものさならぬで、特殊的形式であつたり、生活を眞に中味さしない型であつたりするやうなことも起る。少くも、教師の勞も、殊に兒童の勞を費消させることが多い。すなはち、國民學校の躰の尊重に對應して、就學前の躰けの正しい留意が特に必要になる。そして家庭以外、學校以前の正しい躰けの爲に、幼稚園に於ける躰の有効が強調せられずにはゐないのである。勿論、學校への連絡に於てのみ、就學前の躰が、必要な譯ではないが、その逆に、適當の躰けなしに直に學校に入ることに比すべくもない。但し、こゝにいふ意味は、必ずしも、就學前から就學後と同じ程度の躰を完成させようといふのではない。寧ろ、躰けの個々の點よりも躰けといふことをされてゐるといふことに、大きな價值があるのである。又、その躰けは、必ずしも、生活の形のみのことではない。心の躰、その躰けられた心からだん／＼形に出る躰けといふこともある。しかも、いづれにせよ、日本國民としての躰けであり、その錬成の一要件としてのみ、就學前の躰もあるのである。すなはち國民學校の躰と同じ本質をもつところの國民幼稚園の躰けである。

一 幼兒における社會的行動の發達

依田新
久米京子

一、問題

ビューラー等によるミ、幼兒における社會的行動は可成り早くから出現するものであつて、笑ひ、反抗等がその顯著な標徴さされて居る。之等の點について一幼兒の觀察記録に基づき社會的行動發生の様相を考察して見ようと思ふ。觀察された幼兒は久米の長男であつて觀察者は久米京子である。(一九三三年一月三十日に生る)

先づ幼兒における社會的行動として次の五つの面をとり上げ、この點から觀察録を整理したのである。

- 1、他人に對する積極的態度(笑ひ)
- 2、他人に對する消極的態度(はにかみ、人見知り)
- 3、他の子供に對する態度(遊び)
- 4、自己主張(泣き、怒り)

5、禁止、命令等に對する態度(聞き分け)

初めに之等の各々についてその發達の様相を述べ、最後に之等を綜合して社會的行動の發達の位相を明かにしたいと思ふ。

二、觀察

1、他人に對する積極的態度 他人に對する反應として最も早く觀察されたのは、傍にゐる人の移動を目で追ふことであつた。例へばこの子供に於ては生後十九日に於て「人が近づくとよくその顔を見、動くとき暫くの間目で追ふ」といふ記載が見られる。勿論、この様な行動を以て直ちに社會的行動と見做すことはできないが、同じ様な行動が三十二日目になるさもう少しはつきり現れてゐる。即ち、その記述による「叔母ちやんが動くとき首まで廻してその後

を追ひ、見えなくなるまで一寸泣いた」とある。

他人に對するもつゝ明瞭な積極的な行動としては、普通言はれてゐる様に「他人に對する微笑みをあげる」ことができるが、これはこの子供に於ては生後四十六日（一月十六日）に現れてゐる。それまではあやすま今にも笑ひさうに見えながら笑はず、この日朝非常に機嫌がよいのであやしたら始めて笑つた報告されてゐる。勿論之以前に於ても笑ひが全然現れなかつたのではない。唯他人に對する反應としての笑ひは之が初めてであつた。併しこの笑ひは未だ全く受動的であつたが、能動的に他人に對して笑ひかけるさいふのは、もう少しおくれれて現れる。即ち生後五四日（一月二十四日）に「他人が近づくと積極的にはゝゑみかける」とあり、六三日（二月三日）には「朝起きて初めて人の顔を見るに必ず子供の方から積極的に笑ふ」とある。そしてその笑ひは次第に明確になり、活氣をおびてきて、二月月の終りから三月月にかけて「あやすまよく笑ふ」とか「よく聲を立てゝ笑ふ」といふ様なことが觀察されてゐる。

この笑ひは更に四ヶ月に入るに、表情も深くなり、愛情の表示として現れてくる。例へば四ヶ月十八日には「笑ふ時又は笑つたあま抱かれてゐる人の胸に顔をこすりつける」とあり、四ヶ月二十六日には「笑ふ時目を細くし顔に表情が深くなつた」とある。注意すべきことは、同時にこの頃か

ら暫くの間他人に對して餘り笑はなくなり、人によつて親疎ができてゐることである。即ち、表情が豊かになるさいふことはこの頃から明かに感情が分化し始めたことを示してゐるのである。

それが又六ヶ月の終り頃から八ヶ月頃にかけて他人に對して非常に愛想よくなり未知の人にも自分から微笑みかけ、戸外や電車の中なごでも矢鱈に誰にでも笑ひかけたり、聲をかけたりにしてゐる。實に笑ひが一層意識的、技巧的になされるに及んで笑ひの社會的意味は一段明かになるのであるが、興味ある事は九ヶ月頃に於てかゝる笑ひ、即ちお世辭笑ひも言ふべきものが現れてゐる。即ち九ヶ月三日の所に「戸外にゐる人にお世辭笑ひらしきものをする」と記載されており、九ヶ月十日の所には「ほしいものがある時、抱かれたい時なき、しきりにお世辭笑ひをする」とある。或ひは一年一ヶ月の所に「皆が笑つてゐるに、自分も大きな聲を立てゝ笑つて人々の注意を惹かうとする」といふ様なことが報告されてゐるが、是等はすべて技巧的な笑ひの初まりと言つてよい。

笑ひが意識的になり、技巧的になるさいふことは、自他の區別が漸く出來始めたことであるからして、今迄の様に周圍の場面的強制によつてひきずられてゐた行動の他に、例へば十一月十二日に觀察されてゐる様に、自分の傍に

るる未知の人に無關心でゐられる様な行動も現れて来る。

又、この頃から次第に社交的になり、一年二ヶ月頃には來客を歓迎し、愛嬌をふりまいて、大人を相手に遊ぶ様になつてゐる。更に一年六ヶ月の頃には、「大人さふざけて遊ぶのに興味を持ち、」「相手がほしい時には大人の邪魔をしてふざける」こいふ様なこゝが觀察されてゐる。

2、他人に對する消極的態度 人見知りがいつ頃から現れてゐるかと言ひますと、この子供に於ては生後百十四日(三ヶ月二十四日)の日に、未知の大人の顔を見てひき泣き、母親が抱き上げてやるまで泣きやまなかつた、こいふのが最初であります。既に述べた様に今迄はあやすこよく笑つたものが、この頃から次第に笑はなくなり、「初めての人には泣いたり(四月二十一日)、二十七日、」他人があやすこ笑はないでその人の顔を inspect する(調べてみる)様子が見える(五月二十八日)のである。この頃に感情の最初の分化があるを見てよいこゝは前項で述べた通りである。

この様な人見知りは五ヶ月頃まで顯著に現れてゐるが、その後はむしろ積極的に愛嬌をふりまくこいふ様な行動が暫く前面に出てゐる。それが生後一年二ヶ月から四ヶ月頃にかけて、時々初対面の人をばづかしがつて泣いたり、はづかしさうな表情をして母親のかげにかくれたりする様なこゝが、しばしば觀察されてゐる。既に述べた様にこの頃

は一面に於ては非常に社交的になり、愛嬌をふりまいてゐるのであるが、之は互ひに矛盾した現象を見るよりは、ゲノティービッシュ(根元的)にはむしろ同一のものを見るべきであり、社會的交渉の發展における一位相さ見るべきであると思ふ。

3、他の子供に對する態度 既に多くの人によつて言はれてゐる様に幼兒の社會的交渉は先づ大人との間に成立し、他の子供に對する社會的反應は著しくおかれて現れるのである。この子供に於ても生後百六十二日(五ヶ月十二日)に「よその子供を見てよく笑ふ様になつた」こ初めて記載されてゐる。この頃から子供に對する關心は段々顯著になり、次の様な觀察がなされてゐる。

六ヶ月二十三日 他家の子供が來たら大よろこびでハシヤイで乳も落ちついて吞ます。

併し、この頃までは單なる關心の表現に止まるが七ヶ月頃からもう少し積極的に呼びかける様になる。即ち、

七ヶ月二日 三歳の女兒を見てアーミ言つてチヨツカイをかけ行つてしまふ泣く、

八ヶ月三日 抱かれて歩いてゐる時、子供が通るこ必らずふり返つてその方を見る、

八ヶ月二十四日 母の會に出席し、隣席の十一ヶ月の子供を見てアアミ言つて話しかけ、そのうちに手を出した、

あちらも手を出したらギョット握つてその子を泣かせた、
八ヶ月二十七日 相談所で會つた子供にアーミ言つて話
しかける、

九ヶ月二十四日 散歩をしてゐても子供があるさ、その
方へ手を出したり、體をその方に向けてニヤニヤ笑つたり
してゐる、

十一ヶ月十七日 外へ出て小さな子供を見るミアツタア
ツタミ言ひハハハ話しかける、

この様な行動は一年三ヶ月頃まで續いてゐるが、まだそ
こには二人の子供同志の間に積極的には行動的交渉は始め
られてゐない。それが一年三ヶ月頃から兩者の行動的交渉
が開始されてゐる。即ち、隣りや近所の子供が遊びに来る
のであるが、初めの中はお互ひに相手の顔にいたづらした
り、つき倒したりして、結局どちらかが泣いてしまふのが
落ちであつて、二人で一緒に遊ぶさいふ所までは却々行か
ない。殊に一年六ヶ月から七ヶ月頃にかけては後に述べる
様に非常に所有慾が強くなつてゐるので玩具なども獨占し
てしまつて一緒に遊ぶさいふこは殆ど出来ない。

それが一年九ヶ月頃からは次第に遊べる様になり、殊に
少し年上の子さによく遊ぶ様になる。即ち、

一年九ヶ月二十一日 近頃近所の少し大きい女の子さよ
く遊ぶ。

一年十ヶ月二十九日 この頃は友達さよく遊べる様にな
つた。

4、自己主張 社會的になるさいふこは自己の意識化
であり、その意味に於て反抗さいふこが自我意識の發達
の重要なメルクマールミ(特徴)ミなるのである。それ故に
次に反抗さいふこを中心ミして自己意識の發生を後づけ
て見ようと思ふ。

先づ自己欲求の最も原始的な表現は「泣く」さいふ事に於
て示されるのであるが、この子供の生後四十六日(一ヶ月
十六日)に「抱きぐせがついたが、抱いてやらないミ足をふ
ん張つて泣く」さいふ觀察があるが、之を以て自己欲求の最
も萌芽的な表現ミ見るこができる。

生後八十六日(二月二十六日)には「お腹のすいた時、眠い
時、意志を現す時の泣聲はつきり分化す」ミあるが、こ
に欲求の分化を見るこができる。更に生後五六ヶ月にな
るこ、少し匂へる様になつた爲に思ふものを取らうとして
うまく行かないミ泣き出したり、自分のしたいこがはつ
きりして来るに伴ひ、思ふ様に行かないミ愚圖る様なこ
が多くなつてゐる。是等は自己の欲求が一段ミ明確になつ
たこを示すものである。

初めて「怒り」の表情が現れたのは六ヶ月十九日で「親戚
の小學生が胸をいぢつたら怒る様な表情をしてその手を拂

のけた「こいふこゝである。九ヶ月頃からの怒りが非常に多くなり、欲求を表現する爲におごす様に泣いてみせたり、何かしようとしてゐるのを邪魔するに非常に泣いて怒るのである。この様な所業が十二ヶ月頃までつゞくのであるが、これは既に述べた様に、丁度笑ひがこの頃から意識的技巧的になつて来たこゝ、對應し、欲求の分化或は明確化を示すものである。

生後一年目の前半は既に述べた様にむしろ非常に社交的な行動が前面に現れてゐるのであるが、一年五ヶ月頃から再び自己主張が強く現れて來てゐる。即ち、非常に慾深になり、玩具を獨り占めし、思ふ通りにならないとわざと泣いて見せたりして、却々のきかん棒になつてゐる。

例へば

一年五月二日 近頃慾深くなり、玩具を他人に貸さず人がゐるを自分で抱へられるだけ抱きこんでしまふ。

一年六月九日 非常に自己を主張する様になり、坂なぎで手をさつてやらうとしてみてもボーチャン／＼と言つて獨りで登りたがる。

一年六月二十三日 自分の意志を通したがかり思ふ様にならぬと泣きし、この傾向は益々強くなる。

一年七月二十三日 此頃少し氣に入らぬこゝがあるときギガンバツてじだんだむ。

一年七月二十七日 非常に所有慾が出て何でもボーチャ／＼と言つて主張し、一寸でも人が持つたりするミトツタトツタと言つて怒り且つ泣く。萬事そんなで非常に氣むづかしくなつてゐる。

それが九ヶ月頃から又次第に友達とも遊べる様になり、滿二年の始めに妹が生れ、その嫉妬から一時非常に我儘、強情になつてゐるが、間もなく、二年二ヶ月になる迄物の聞き分けもよく出来る様になつてゐる。然るに又三年の始め頃から又反抗的になり、きかん坊になつてゐる。併し同時に一層獨立的になり、一人でもおさなくよく遊び、何でも一人で出来る様になつてゐる。そして三年五ヶ月頃には非常に聞き分けがよくなる様になつてゐる。これを見るに、ピューラーの言つてゐる様な所謂反抗期といふのが餘り明瞭に現れてゐないで、むしろ一年七ヶ月を中心とする數ヶ月に、三年の始まりの數ヶ月に現れてゐる様に思はれる。尙之についてはもう少し多くの材料を集めて見なければ何とも言はれないと思ふ。

三、結論

以上の觀察を總括してみると、生後四、五十日頃に於て自己の萌芽らしいものが現れ、之が一方には微笑になつて現れ、他方には泣きになつて現れる。

四ヶ月頃から欲求が可成り明確になり、感情も分化し、

表情豊かになり、愛嬌も深くなる。同時にこの頃から他の子供への關心が現れて来る。

九ヶ月頃から欲求の阻止に對して怒りを示し、自己に抵抗する他の存在が次第に意識されてくる。この様な自他の分化がお世辭笑ひとなり、愛嬌となり、はにかみとなり、或は怒りとなりて現れてゐる。

一年五ヶ月頃から強い自己主張による一時的困亂が現れるが、數ヶ月にして聞き分けもできる様になり、自然他の子供とも一緒に遊べる様になる。

三年の始めに又一時反抗的になるが、同時に著しく獨立的となり、數ヶ月後には又聞き分けがよく出来る様になつてゐる。

(附記) 本稿は昭和十六年四月四日九州帝國大學に於ける第八回心理學大會に於て發表せるものである。

今年の保育講習會

今年には文部省主催の保育講習會は開催せられないといふことに漏れ聞きました、よつて本會主催で左記の通り開催いたします。

期間 七月二十二日から二十六日まで五日間毎日

午前八時より午後四時まで

會場 東京女子高等師範學校講堂

科目 本年は特に國民學校の教育に對する保育者

としての理解に主點を置き、倉橋主幹の總説の外、國民科、理數科、藝能科音樂等に就て各専門權威のお話を伺ふ事とします。

更に戸倉講師の新遊戯、及川講師の新手技は例年の通り會員諸君に有益なお土産を頒ち得ることに信じます。

昭和十六年六月

日本幼稚園協會

鹽野圖書監修の

(二) 教へを乞ふ座談會

みどり會研究會

○國民學校低學
年ミカズ

(ツツキ)

鹽野「それは言葉でせうね。七の次は何か、あこはいくつか言つても判らないでせう。つまりいろはを覚えるやうなもので。」

倉橋「ではその言葉ミいふか、觀念の裏ミいふかそれを相手にせずですか」

鹽野「相手にせずですね。」

倉橋「では、抽象數へやがては行くのだから、この豫めもつてゐるものを馬鹿にしないでそれをもミにして具體數へく

つつけるやうにすることは如何でせう。」

鹽野「それは結構です。が都會の子きも田舎の子きもは先にミの位數ミして知つてゐるかか點ちがふでせうね。」

山村「數を直觀してゐる子きも對してはさう扱つたらよろしいでせう。」

鹽野「さういふ子きもは先へ進めればよいでせう。一本、一匹ミいふやうに呼び方を教へてやるミいふ風に。」

○量ミ數

倉橋「量の方が先でせうか數の方が先でせうか、國民學校の教科書では數の方が先のやうですが。」

鹽野「數ミ量の關係ですが、數ミいふのは量の一つの現し方だミ私は思ひます。つまり先にも言つた同體異相で觀點の相違でせう、數ミなるミ或時間的經過を要します。」

倉橋「むづかしいミミになります。が、實際家ミしては量經驗をさせるミミをしながら、量の方をミにした事即す時は量を離れないわけですが、量の方をミにした事もあります。量の方は觀念でなく全然心理經驗です、いく房入つてゐるか知らないが大きなみかんでいゝではないかミ思ふ。」

鹽野「カズノホン以前に量の經驗はしてゐる、それをミり上げる。數だけを中心にしてはいけませんでせう。」

倉橋「一つのお煎餅を二つにわつて數へてごらんさいへば一つ二つといふがきつちを上げようといへば量である。それで量が先でせうか數が先でせうか。教科書では同じ形の蝶、花、ミ揃つてゐますが、幼稚園では數へる方より量經驗を深めるといふ方がいゝのではないかと思ひますが。」

鹽野「それは大變結構だと思ひます。カズノホンには量も入つてゐるがまあ數です。」

倉橋「幼稚園では量の方を主にしたらいいのではないでせうか。」

鹽野「さうですね。幼稚園では數、數といはずにそんなことからしたらいいでせう。」

倉橋「今の幼稚園は憶病でして、過ぎざらんことを之れ憂ふといふ風なのです。昔風の徒に過ぎた誤は是正されましたが、ごこまでで過ぎないか、そこを伺ひ度いので、量の方は、いくらしてもいゝでせうか。」

鹽野「それはよいでせう。重さとか大きさとか——」

倉橋「何処にいへば過ぎるのでね。量經驗をうんゞすれば國民學校へ行つて幸でせうか。」

鹽野「それは幸です。」

坂内「量はほんやり大小さいふのですがそこに數が加はることはつきりして來ると思ふのですが」

倉橋「さうもありませんが、數にしても判らんぢやないかといふことでもありますね。」

鹽野「それは一々測るより較べた方がいゝ（鉛筆とナイフを取り長さを比較し乍ら）」

倉橋「數に重きをおいて考へるご何だか數にしないご判らないのですが、量をもごにすれば量の正確さもあるでせう。」

鹽野「國民學校は道の修鍊だといふので、その成績はさう點をつけるか、八點、九點、ごすれば優劣はつきりしますが點ごは何を基準にしてつけるかです。それより優良、可、位の方がいゝと思ふ。」

坂内「量がはつきりするといふのはやはり數にしなければ——」

倉橋「量を量ごしてはつきりさせるのではないでせうか。何処、何分のちがひで言ふのではなく、一々測らないごはつきりしないといふのは、數に明らかで量に不明瞭なのでせう。」

鹽野「如何にも物差で測定するのは正確の様ですが、必ずしも進んだ考へではない。さいふのは速いのは飛行機だからご言つて飛行機でそのポストまでゆくさいふ人がないといふ例もあります。場合々に則して適當なものが一番すぐれたものご申せませう。量は數を伴はなければさいふ

考へでなく、場合々々に則して適當にするべきでせうね。」

○抽象數のこゝ

倉橋「それでは數の方で、抽象數の方で、一年のうち、いつ頃からその抽象數へもつて行くのですか」

鹽野「數字はやゝ抽象數ですがそれは前に申しましたやうにわり合早い。が數字を數字ミ扱はず物に即してゆく。が指さか、丸さかの數ミ數字を結びつけるのは一つの段階です。四は三に一を加へたものと言ふのは十月から出て來

ます。」

倉橋「カズノホンに指一本に下に1ミ書いてある所以のものは指二本のミはちがふ、一本のは1だ、さかう解釋していゝでせうか。」

鹽野「それはそゝまで色々経験してゐるので、或程度でこれも一本二本、一冊二冊の経験で——」

倉橋「何だか、指ミしては一本だが、これはたゞ一本ではない、本でも數でもこの數になる、ミゆくのですね、そこで幼稚園ではこゝで止めませうか。數へもこゝミ出度いところを、表現する法を教へてもいゝでせうか。現にしてゐるのですが、いらなないこゝでせうか。」

鹽野「數を教へ様々意圖されないでもいゝでせう。實際を見せて置けば自然數へ來ます。」

倉橋「そこで順序は數で現すが経験で、五日六日は順序であり、時計の三時さいふのは三ではないのですから、順序數の方が量に次ぐものではないかと思ふのですが。順序の経験なしに數は判らないと思ひますが。」

鹽野「さうでせう。號令ミ同じで最後の呼び方で全體の數を現すのですから」

倉橋「幼稚園では數を順序で行くのは相當の處まで行つてもよいのでせうね。」

鹽野「それはいゝでせう。が數をこなへるだけは……」

倉橋「お題目はいけませんね。」

坂内「抽象にしなければ、實物を離れる事がなければいゝでせうね。數をはなれて生活出來ないと思ふのですが——」

鹽野「自然に出てくるものをミり上げる、用ひるのでいゝと思ひます。」

坂内「わざミ機會を作つてした方がいゝでせうか。」

鹽野「わざミしないでいゝでせう。」

坂内「では數に關して経験を繰返した方がいゝでせうか。」

倉橋「カズノホンの最初の頁に五つを豫想してゐられるが、五つの數經驗をこゝまでにさせておけさいふのななくて、日本の國民學校一年生に入學する子さもは、四月の入學までに五ぐらゐるの所まで經驗出來てゐるを豫想してゐるだけでせうね。で、幼稚園ではこの豫想に達しない子さもは、何かしてやつてもそれはいいでせうね。又量の方ではうんちやつても、又順序も或程度までやつてもよい、さいふ事になりますね。」

鹽野「幼稚園で數でも教へなければひまださいふのならば、さうでもないでせう——。」

須子「つまり物を離れないさいふのは實物ならよいさいふのななく、子さもは生活をはなれないでさいふ意味でせう。」

倉橋「リンゴが澤山あつて、こゝでちやうさいふから五さいふ事を経験させてやらうとする位はいいでせうね。」

須子「グラフさいふのは抽象的ですが、今日は出席十人なら四角を十だけ色つけて五人出席なら五つ色でそめるさいふ事をしますが、ある量を現すを思ふのですがこんなのはさうでせうか。」

鹽野「長さ、量の判斷ですからいいでせう。」

及川「カズノホンの七夕様の所で色紙を短冊をつくる、これは色紙の方は對角線に折つてつくるのでせうね。短冊の

方は四分の一に折るのでせう。」

倉橋「數の事は幼稚園では觀察の場合より手技に多く機會が出て來るのです。澤山花を摘んだよ、必ず何本々々さいふのではありませんが、が、手技の時は量を澤山描くさいふ事は可能でなく、されだけ、又さの位のものをつくるかが必要になつてくるのです。」

鹽野「自然の觀察でもたゞ見るさいふやうな粗末なこゝではいけませんね。自然の中で、自然と共に遊ばせる、動物の飼育、植物の栽培で自ら見ずにはられないやうな風に觀察させる。そして一つは手技から處理するのです。」

倉橋「幼稚園では實にそれをやつてゐるのです。觀察は物の中さながらの中にある時より何か作るさいふ時にその働きが顯著になります。」

鹽野「動物が飼つてあれば餌をやる時、又花に水をやる時なごにも數は出て來ませうね。」

倉橋「鉢に花を植ゑる時、又殊に朝顔の花が何輪さいたか、金魚が鉢に三匹ゐるさか、きんぐりを拾ふ時、こんな時ある程度まで數でそれに耐へなくなるを形容詞になつたり量になつたりします。この幼稚園に小鳥を澤山飼つてゐないのも深い意圖があるのでして……」(笑)

及川「この様なカズノホンで行つたら、今の幼稚園の子さもはみんないいでせうね。」

倉橋「今まで幼稚園を小学校をこの様には考へられて
るませんでした。考へられてゐないのもつて幼稚園の姿
だとして来た位でした。今まで幼稚園には大そうきち／＼
とした考へも、天空茫莫の二極端があつた。これは幼稚園
の方もいけなかつたのですが、言ふことを許していただく
なら、小学校の方で、そこからスタートするかが判らなかつた
といふこともあつたらしいのです。」

けれども今このカズノホン一つつくるのでも大へんな研
究に根據原理でされたのですから、これからはこれに、こい
ふ事ができます。伸び方にも充實といふ伸び方もあるので、
今まで小学校幼稚園は程度といふ重さばかりのつながり
を言つたのですが、その前の充實さが我々の大事な役割に
なつてくるわけで、数についてはこゝまでだが物の經驗に
ついては幼稚園に來た子もはぐん／＼やつて、太く、廣く
充實させるといふのですね。これはどの教科についても。」

鹽野「つまり態度さか、その他についても、充實したまこ
ろが——。それが道の修練なのです。」

倉橋「野原へ出て幼稚園に來なかつた子もより來た
子もがよりよく遊べるさか、蝶をみてもすぐ何蝶さかい
はずに數へるといふこゝでもなく、よく遊べるといふやう
なこゝ——。幼稚園の先生は數學は出來ないけれど何だか
宇宙の眞理をつかんでゐるといふやうなこゝがいゝのでせ

うな。」

鹽野「むづかしい學問はむしろ知らない方がいゝです。
科學的に判斷してさうなきこゝいふ事は餘計なこゝですよ。」

倉橋「野生がよいのでなく野生的文化がよいのであり、
無智がよいのでなく無智だから知らうとする態度がいゝの
ですね。あゝ知らないよといふのでなく知らうとする態
度。なまじ早く文化的文化へもつて行かなくてよいので
ね。」

鹽野「わからないから知らうといふその態度がいゝので
すね。」

倉橋「今日は大へん長い間、色々大きな問題をお話して
いただきました。ありがとうございました。我々實に斯う何だ
か釋然しました。又機會を得てこの後も色々教へていた
だき度いと思ひます。」 (完) (文責在記者)

× × × ×

× × × ×

人口政策と國民幼稚園

三 木 安 正

一、

大東亞の新秩序建設といふ大望を負ひながら、お米が無い、炭が無い等生活必需品の不足に顔色を變へ、ベルサイユ體制の破壊、さいふより世界新秩序建設の爲めに、列強の喰ふか喰はれるかの大爭覇戰に氣を吞まれた形で、未だに一億一心の肚を据へ兼ねてゐるのが、正直の處、吾々の氣持ではなからうか。

こんなことで良いと思ふ者は誰もあるまい、又世の中が急激に變りつゝあるさいふことは誰もが感じて居るだらう。結局、肚が据らぬさいふのは今までの日本人の頭にまつて問題が餘りにも大きすぎたのではないだらうか。

中央公論の四月號に小倉金之助氏が「現時局下に於ける科學者の責務」さいふ一文を寄せられてゐるが、そこに心ある科學者の反省の言葉として、小竹無二雄教授や菊池正士教授の書かれたものの一節が引用せられてゐる。

「日頃自分を賢い男だと思つたことも無いが、正直を言ふと、最近迄は、これ程の愚か者であるとも思つてゐな

かつた。さ言ふのが本音である。

今度の事變が起つてから滿三年が過ぎてゐる。……少しく賢い人々であれば、これ等の見聞から、我國のかくある可き事情や、諸々の眞の様が、略々推察し得た筈なのである。然るに最近折にふれて、様々の方面の眞の様が具體的に説かれ、教へられることが重なる迄は、たゞ漫然と……伊希戰爭程度の不安より持ち得なかつた、さいふ程度に近い物であつたことは否めない。

その證據に、私共は今に尙ほ安閑として毒の研究をし、米の胚芽油の成分の研究をし、ストリヒニシなる歐洲で百年來いじりまはした研究に没頭してゐるのである。

この愚かな私が、今母國が立つ眞の様を見て、只愕然としてゐるのである。……熟慮數月、今臺灣十五年の研究を放棄して、母國の急に參する覺悟だけは確に出来上りはしたが、扱て私は何をなすべきなのであらうか。」

(小竹教授)

この心底からの告白を讀んで、誰が小竹教授を愚か者と呼ぶことが出来ようか。一體愚か者は誰であらう。

前書きが長過ぎると思はれたかもしれない。

しかし、以上は決して前書きではないので實を言へば、今私が原稿用紙に向つて考へてゐることは、人口政策論でもなければ、國民幼稚園論でもないのである。私は子供のことを研究しようと思してゐる者であるが、そこで何を爲すべきかをつかみたい。

小倉先生のやうな人であれば、「現時局下に於ける保育者の責務」でも題するこゝであらうが、それでは氣がひける。しかし、把かまへて行くものは大きなものでなければならぬ。人口政策に國民幼稚園を、いづれも、吾々の據て把握すべきものとして、現時局下に於て、小に失するこゝいふこゝはあらずまい。

二、

大正九年を轉機として、我國の出生率に低下の傾向が現はれ、この傾向を放置して置けば昭和七十五年を頂上(一億二千三百萬人)として、人口の自然増加は停止し、昭和百年には一億一千二百萬人に落ちて行く、しかもその時には、人口の年齢構成が、ピラミッド型であるが理想とするのに、ニコライ堂の屋根のやうに、中年以上の者が多くなり過ぎてしまふのが、人口學者の計算によつて示されてゐる。

これでは東亞の盟主として立つて行くことは、難かしくなるので、本年一月二十二日の閣議で、「人口政策確立要綱」といふものが決定されたことは周知のことである。そこでは差當り内地人口を昭和三十五年に一億とするこゝいふ目標が立てられたのであるが、この目的達成の爲めには、諸般の方策が實施せられねばならぬと共に、その基本は精神の問題に歸するを考へられてゐる。即、要綱の第三條に、右ノ目的(昭和三十五年人口一億)ヲ達成スル爲メ探ルベキ方策ハ左ノ精神ヲ確立スルコトヲ旨トシ之ヲ基本トシテ計畫スルコトあり。

一、永遠ニ發展スベキ民族タルコトヲ自覺スルコト。

二、個人ヲ基礎トスル世界觀ヲ排シテ家ト民族トヲ基礎トスル世界觀ノ確立、徹底ヲ圖ルコト。

三、東亞共榮圈ノ確立、發展ノ指導者タルノ矜持ト責務トヲ自覺スルコト。

四、皇國ノ使命達成ハ内地人口ノ量的及質的ノ飛躍的發展ヲ基本條件トスルノ認識ヲ徹底スルコト。

の四項が擧げられてゐる。ここで考へねばならないことは、色々な困難を乗り越えて、新しい方向に進むためには、制度或ひは組織の整備と共に、これを動かす精神が確立されねばならぬこと、經濟の新體制について、それには新しい經濟倫理が基本ならねばならぬこと

いふこゝが唱へられてゐるやうに、すべての方面の仕事が、從來仕事考へられてゐたこゝに、教育考へられてゐたこゝが一つになつて行かねばならないといふこゝが判つきりとして來たこゝである。政治教育といふこゝも大分問題になつたこゝであるが、それは政治教育が一體になるといふ處へ行かねばならないと思ふ。

人口問題にしても、この兩者が一體ならなければ、その目的は完遂することが出來ぬであらう。こゝで、人口増加の方策として、色々なこゝがあげられてゐるが、その中に、現行學校制度の改革に就きては特に人口政策との關係を考慮するこゝ。高等女學校及女子青年學校等に於ての母性の國家的使命を認識せしめ保育及保健の知識、技術に關する教育を強化徹底して健全なる母性の育成に努むるこゝを旨とするこゝ、といふやうなこゝも記されてゐるが、前に記した精神の確立と合せ考へて、教育の分野といふものの考へ方が、從來の狭い考へ方を破つて、もつと廣い全般的なものならねばならぬこゝ、即國家目的の遂行の爲めのあらゆる分野に涉つてゐるといふこゝ、従つて小學校が國民學校へ進化したこゝを契機として、學校制度の改革はさう／＼すゝめられねばならぬし、こゝに人口政策に間近な關係をもつ就學前教育の改革は、從來甚だしく等閑に附されてゐた丈に、慎重な考慮と、餘程の馬力をもつて進め

られねばならぬ考へられる。

三、

そこで、從來保育のこゝに關係してゐた者は、その系統如何に係はらず、幼稚園といはず、託兒所といはず、次代國民の育成に遭遇しなければならぬのであるが、そこに要請せられる機關は、幼兒保育に關しては、之を國民幼稚園として一元化すべきであり、その理念は本誌の毎號に涉り倉橋教授によつて説かれてゐる處である。元來フレーベルが幼稚園といふ名前を用ひたのは單に幼稚園といつたのではなく、"allgemein deutsch" (一般的獨逸的)といふ冠詞が附けられてゐたのであるから、之こそ幼稚園の本然のものへ歸るのだといつてもいいわけである。しかし、一元化といふこゝは單に名前の問題や監督系統の問題ではなく、保育事業を強力に發動せしめる必要から要求せられるこゝであつて、國民教育の素地を培ふといふ點に於て、母性教化の中心基地となるべき點に於て、國家が眞にその必要を認識し、之を國家の重大事として取上げるならば當然それは一元化されるはづのものなのである。ナチスドイツが前大戦的の極度の疲弊の中にあつて、まづ母子の問題を國家の重大事として取上げたこゝは今更言ふまでもないこゝであらう。

一元化といふこゝが名前や制度の問題丈に終るべきもの

ではなく、強力な活動の前提として考へねばならないといつたが、その活動の方向で、従来の幼稚園で缺けてゐた點は、所謂、幼稚園の社會教育的機能であることは誰でも考へるべきであらう。このことは例へば、惰性的に行はれてゐる都會の幼稚園では餘り考へないでも濟まされるかも知れないが農村保育所などに於ては、この機能を考へずしてはまづやつて行けないかも知れない。ここに農繁期保育所の場合に、それがよい効果を擧げるかどうかは、その地域の教化、理解の程度にかゝつてゐると思ふ。そのことはこの仕事を隣保組織の一環として考へねばならぬといふことを示してゐる。

都會に於てもこの原則は變るべきものではなく、幼稚園が、幼児にまつては、家庭から學校への橋渡しの處であり、又それが、社會教育的機能を充分に果すためには、地域との結び付きを必要とするのである。一回の家庭訪問も出来ないやうな、擴りこ、粗隔な結合では、社會教育的機能といふことも充分果せさうもない。

幼稚園がこのやうな地域的な基礎に立つて、その中につくりこ融け込み、それが汎く普及された暁には眞の國民幼稚園の名に價するであらう。

そして之の目標の達成の爲には、結局保育關係者が、保育の仕事を通じて社會に働きかけることが當面の問題であつて、國家的使命觀に立つて、兒童母性に關する指導者

しての教養を高めると共に、狭く閉された幼稚園の柵を取りはらつて、社會にまぎ込んで行く心構こそ、現時局下の保育關係者の責務であらう。

豆座談會 (一) 附屬幼稚園

私共倉橋先生膝下の保母達が、日々の實際保育に當つての質問を、機會を捉へては先生に伺ふ。それを稱して豆座談會と言ふ。

國民學校と幼稚園

○保母「よく參觀にいらした方から、國民學校になつてから幼稚園はどう變つたか、國民學校と幼稚園との關係はどうなつたかと云ふやうな質問を受けますが、私共として、それに答へする腹を同じにして置き度いと思ふのですが」

倉橋「そう、それに就いて私はこう思つてゐます。

○國民學校になつてからは、生活體制を重んずるやうになつた。

○それから教科の統合と云ふことが行はれるやうになつた。

○それからいろいろの科目の規準と言ふものが決まつてきたから、幼稚園としてはそれと矛盾のないやうにしなければならぬ。

總じて言へば國民學校と幼稚園とは大變接近して來たのです。幼稚園がもつとよくいつてゐたなら、幼稚園のやうになつて來たと言へるのですけれどね」

K保母「先生、只今のは純粹教育學の立場から誠にいとお話だと思ひますが、も一つあの、「皇國の道に歸せしめる」と言ふことはどうなりませうか

倉橋「それ」それが重大な問題です。こゝいふ問題については、今年の夏、講習で話さうと思つてゐます」

な あ ぜ ？

(二)

東京女子高等師範學校附屬國民學校主事

堀 七 藏

16、お星様はどうして澤山あつて光るの？

さうしてお星様が澤山あるかは誰にも分りません。そしてお星様の中には自分から光るものもあり自分からは光らないがお日様の光を受けて光るものもあります。

17、お星様はどうして出るの？

お星様は晝間も出てゐるのですが、晝間はお日様で大變に明るいからお星様の出てるのが分らないのです。夕方になつてお日様がお入りになるさだん／＼一番星、二番星、三強く光るお星様から見つかるやうになるのです。

18、お星様は澤山あるの？どうしてお月様は一つなの？

さうしてお星様が澤山あるのに、お月様が一つしかないのか、誰にも分りません。またお日様が一つなのかも分りませんね。天に二日なし三申しますがまた天に二つの月がありません。

19、なぜお月様が出るの？夜出るの？

お月様はお日様のやうに自分から光を出すところがありま

せん。それでもお月様はお日様の光を受けて光るのです。

それでお月様は晝間出てるもお日様の光が強いので見えなないので。夜になつてお日様が入つて暗くなるさ、お月様が光るので、見え出すのです。それでお月様が出たさいふのです。

20、なぜお日様はまばゆいのですか

大きな強い光を出す電燈を見るさまばゆいでせう。これは強い光が目に入るからです。お日様からは大變に強い光が出るので、お日様をぢかに見るさその強い光が目に入るので、まばゆいのです。それでお日様をぢかに永く見てるさ、目が悪くなります。氣をつけねばなりません。

21、お日様とお月様とどちらがえらいの？

サアぢちらがえらいと思はれますか。私はお日様の方がえらいと思ひますよ。さうしてでせうか。もしお日様の方がかつたらさんになるさ思ひますかを考へて御覽なさい。

お月様の出ない晩がありますが吾々は左程にも困りませ

ん。それで私はお日様はお月様より大變にえらいと思つて
 ますよ。お日様がなかつたらこの地上の草木も犬猫も私
 達人間も皆生きて行くことが出来ませんでせう。

22、お日様やお月様はどうして入つたり出たりするか

大昔の人は天が動くからお日様もお月様も一緒に西の方
 に動いて行つて見えなくなるものだと思つたのです。ここ
 ろが今の人々は天が動くのではなく、吾々のすむ地球が西か
 ら東に廻るので、お日様もお月様も東から出て西に入るも
 のであると思つてゐます。さうです、さう思はれますか。
 この地球が西から東に廻つてゐるを考へられますか。

23、お月様がどうして形がかはるのですか

お月様はいつもまんまるいのですよ。三日月のときでも
 半月のときでも氣をつけてよく御覺なさい。暗いところが
 まんまるくなつてゐませう。それなのにお月様はさうして
 三日月に見えたり、半月に見えたり、満月になつたりする
 のでせうか。光の當つてゐる顔を真正面から見るを顔全體
 がよく見えます。ところが横から見るを顔の半分しか見え
 ないでせう。光の當つてゐる真正面から見るを満月に
 當り光の當つて顔を横から見るを半月に當るのです。
 お分りになりますか。

24、なぜお月様のところへ行けないか

飛行機に乗つてきん／＼高くのぼつて行きますよ。みんな

になると思ひますか。飛行機に乗つて高くのぼつた人から
 お話を聞いたことがありますか。だん／＼高くのぼります
 大變に寒くなります。飛行家が飛行服をいつて特別に寒
 さをふせぐ服を着てゐるのを見たことがあります。それ
 からだん／＼のぼつて行くよ、空気がだん／＼うすくなり
 おしまひには吸呼が出来なくなります。それでお月様のこ
 ころに行くには大變高くのぼらねばなりませんから寒さで
 凍死しないやうに、また呼吸が出来なくて死なないやうに
 き、いろ／＼の工夫をせねばなりません。今のところその
 うまい工夫が出来ないので、人間はお月様のところに行く
 ことが出来ないのです。

25、雲はどうしてそんなに飛ぶか

高いところを風が吹くから雲が風に吹かれて飛ぶので
 す。雲が動くのにさぶやうに速いときもあればまた割合に
 おそいときもあります。さぶやうに速いときは雲のある
 ところを強い風が吹いてゐるときです。

26、虹はどうして出るのか

虹はさうして出るのかを尋ねられても中々お答が六ヶし
 いですね。一體虹はどんなものだと思いますか。虹は吾々
 の眼に見えるだけで、實際にあるものではありませんよ。
 丁度お日様をせなかにして口から霧をふくき、目の前に小
 さな虹が出来るのと同じわけなのです。

27、お風呂のお湯はどうして上の方が熱いの？

お風呂の釜の近くの水が熱せられて軽くなつて上に出てお風呂のお湯全體の上に廣がつてゐるからです。下の方が水のように冷いが上の方だけ熱くなつてゐるものです。それでお風呂のお湯をわかすときには時々かきまぜて上の熱い方ミ下の冷い方をまぜないといけなひのです。

28、水道はどこから出るのか

水道の水は水道の大もこのところで澤山の水を河なり池なりまた深い井戸なりから引入れたり引上げたりしてゐるのです。その水を鐵管で送り水道を引いてゐる方々の家にくばるやうになつてゐます。それですからふだんは栓をひねるミ水道の口からお水がじやあミ出るのです。しかし天氣が永く續いて水道の大もこの水が不足するミ、水道でも「斷水」ミいつて、水が出なくなるミがあります。それで水道の水だからいくらでも出るミ思つて、無闇にむだ使ひをしたり出し放しにして置いてはなりません。

29、地震はどうして起るか

昔は地震がさうして起るか、はつきり分らなくて、地面の下にすむ大きな鯨が尾を動かすミその上に地震が起り、ひれを動かすミその上に地震が起るものだミ考へたりしたのです。ミところが今日では地中にそんな大鯨なきがあるために地震が起るなきミは考へられません。そして地面の中

に大きな穴が出来るミ、その上が落ちるためにその上の地面には勿論のこも、その附近から四方八方に地震が起るのであります。

30、電氣はなぜ明るいか

あなたの電氣ミいふのは電燈のこもでせう。電燈もそのもミにあるネヂをねぢつて電氣を通さないミ明るくならないでせう。氣をつけて電燈の球の中を御覽なさい。タングステンミいふ金屬の細い線を封じ込んであります。その細い線を特に「織條」ミ申しますが、それに電氣を通するミ織條が熱せられて強い光ミ熱ミを發するものです。電燈の球の中では火が燃えるのではありませんが、強い光ミ熱ミを織條のこもで發生するから、電球が熱くなり電燈が光つて明るくなるのです。

31、ラジオの色々の音や聲はどうして聞えるか

それは大變に六ヶしいこもで説明は容易であります。電話で先方の話がよく聞えて来るしこちらの話が先方に聞えるか、お分りになりますか。電話で送話機に向つてお話をするやうにラジオでも放送局で歌つたりお話をしたりするのです。電話で先方の送話機に向つて話した事がこちらの受話機でよく聞えるやうに、放送局で放送した歌やお話がラジオの機械で丁度放送の通りの歌やお話ミして聞えるやうに仕掛けてあります。大變にうまく工夫をしてあります。

今から二十年前にはラジオも發明せられて間もないころではあり殆んどラジオがない位でありました。それが今日のやうにラジオが發達したのはまだ十六年の歲月しかたつてゐません。それにしてもラジオはまことに不思議なものです。

32、蓄音機はどうして鳴るのか

蓄音機のなるのも考へるまことに不思議です。蓄音機のラッパの奥や箱の中を覗いても誰もみません。そしてレコードをかけて廻はさないで、歌も話も出て來ません。するレコードの中に蓄音機から出る歌でも話でも饅詰にしてあるわけです。氣をつけてレコードを見るに細い筋が澤山くあります。この筋のところに歌でもお話でも入れてあるのです。この筋のところが蓄音機の針でなでるに、針のついでる薄い板がレコードの筋の太い細い、深い浅いによつて、「振動」をいつて大變に速くふれるから歌でもお話でも出るのです。丁度太鼓を打つと太鼓の皮が振れて音が出るでせう。また薄い紙を口に當て、強く吹く音が出ませう。また障子の破れたところに強い風が當るに、音が出るやうなわけですね。さうです分りますか。よく考へて御覽なさい。

33、ゴーストツブはどうしてあるのか

ゴーストツブはどんなところにありますか。電車や自動

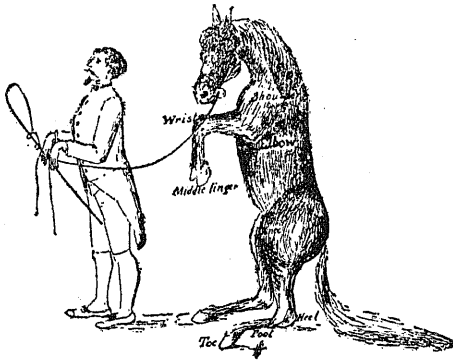
車が多く通り、人の往來ゆきまきも大變に多いところにゴーストツブがあります。それだけではありませんよ。ゴーストツブのあるところは、大抵電車道や人の通る道路が十字に交叉してゐませう。そしてゴーストツブの青が出て右から左に行き、左から右に行く人や電車などのあるときには赤が出てゐてこちらの方は前に進んではいけないのです。次にこちらから見るに赤が青にかはつたときには進むのです。その代りに右の方からも左の方からも車や人が歩いてはいけないのです。ゴーストツブは人や車の進んだり止つたりする號令をかけて、往來があぶなくないやうにしてゐるので、青が出れば進んでよい。赤が出るに必ず止めさいふ合圖をゴーストツブがしてゐるのです。

34、青はどれが本當ですか

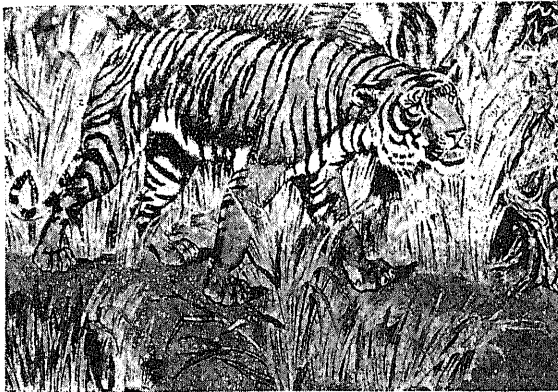
ゴーストツブの青は本當の青に近いのです。青バスなどの青は本當の青ではありません。空が青い木の葉が青い。水が青いいろいろな青がありますからまちまちで困ります。今度出た國民學校のエノホンではちやん青緑を本當に區別してあります。あの青が本當の青です。氣をつけてよく見て本當の青をはつきり覚えて下さい。

35、石鹼はどうして泡が立つか

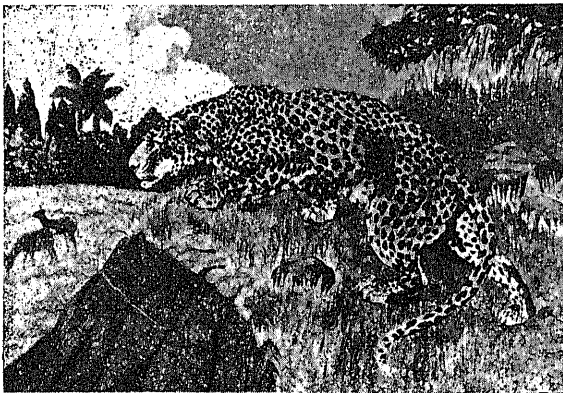
石鹼が水にまけるに粘つた石鹼水が出來ます。その中に空氣が入るので泡が立つのです。それで石鹼水を管の先に



つけて静かに吹く、石鹼玉が出来ませ。石鹼玉の中には
 空気が入つてゐますし、石鹼水がうすい膜になつてゐます。
 36、猫や犬はどうして着物を着なくても寒くないか
 ぎうして猫や犬は寒くないのでせうか。猫でも犬でも澤
 山に毛が生えてゐますから、いはば毛の着物を着てゐるの
 ですよ。毛皮は大變に暖いのです。私達人間のやうに裸に



虎



豹

なつたときは大違ひなのです。
 そんなら馬や牛はぎうして寒くないかといふと、是等も
 毛が一面に生えてゐますので寒くないのです。それで獸類
 でも鳥類でも寒いときには特に毛や羽毛が密に生えるので
 す。犬や猫の毛がぬけかはるのを見たことがありませんか。
 春先になるとき犬でも猫でも大變に毛がぬけます。そしてう

す着になります。秋になるに澤山の毛が生えて厚着をする
ことになります。

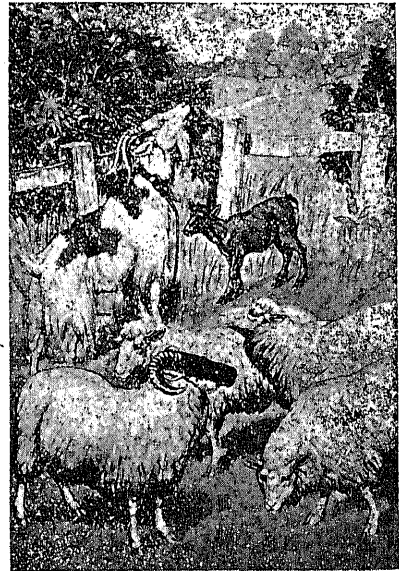
37、何故犬は足が四本なのか

犬は生れるときから足が四本、犬の先祖から足が四本あるのです。何故足が四本あるかさきかかれても誰もお答へするところが出来ません。しかし氣をつけて考へて御覽なさい。人間も赤ん坊のときハイハイするときは足で手で動きますが、歩くやうになるに足だけ使ふのです。手と足が形も違ふでせう。働きもちがひませう。ところが犬でも猫でもまた馬や牛などでも前肢と後肢が全く同じではないでせう。動き方も違ひませんか。しかし歩く役目をしてるますね。ところが鳥はさうでせう。鳥の肢と翼を考へます。肢は犬の後肢に當ります、翼は形も役目も大變に違つてゐますが犬猫などの前肢、人間の手に當るやうに考へられませんか。

38、虎と豹とはどう違ふのか、また羊と山羊とは

どう違ふか

虎と豹とは大變よく似てゐますがまた違ふところがあります。動物園でよく虎と豹を見比べるに分りますが今繪を見せませう。さうです。虎の顔と豹の顔に似てゐますがまた違ふところもあります。また模様が違つてゐます。豹の模様はポツポツになつてゐますが虎では長い線に



羊山と羊

なつてゐますね。羊と山羊も似てゐる中にも違ふところがあります。殊に羊にはいろ／＼ありますから一寸區別は面倒です。山羊には必ず太い角がありますが羊には角のある種類とない種類があります。この繪のどれか山羊でどれが羊でせうかよく見て御覽なさい。

毎日の保育問題 (八)

泣き方いろいろ／＼取扱いろいろ／＼

上澤謙 二

◇泣き月涙の月

四月五月さいへば、櫻花瀾漫、新緑映發。長閑ささ新鮮さの好季節ですが、幼稚園では泣き月、涙の月。保育者に取つては、最も氣をもみ、手数がかゝる書き入れ時であります。

知らないところへ初めてやつてくる新入園児。會ふは見知らぬ顔ばかり、ひびくは聞き馴れぬ聲ばかりで、卒然として鬼界ヶ島へでも取残されたやうな思ひがするでせう。

しかも彼等は幼児であります。泣くよりほかにすべがない。『お家へかへる、お母さまー』と叫ぶよりほかに道がない。それがあつちにも、こつちにも、同時に、一齊に揚がるのです。

それを『泣く子に地頭に勝たれぬ』と、古い諺を引出して澄ましてゐるわけにゆきません。さうかして取りしづめなければなりません。しかも保育者としては、叱咤ではない。威嚇ではない。單なる御機嫌取りではない。より教育的に取扱はねばなりません。

げに保姆に取つて、櫻花の月、新緑の月は、氣つかひの月、手数の月と申すべきでせう。

◇これよおんが

なだめても、すかしても、泣きやまない。泣きやむころか益々募ります。『手がつけられない』とはこのこと。實際手をつけて引寄せようとしてもすれば、身ぶるひして、泣聲は火のつくやうに高まるでせう。

困り果てた先生の頭に、この時、浮かぶ一つの方法は『おんぶ』といふことだ。

おんぶする——これは御承知のやうに西洋にはありません。東洋の或るところでは、子供を背中で處理するのが見られますが、長い紐で上下をしつかりくくりつけて、おぶふ者とおぶはれる者、全く重ね餅のやうな緊密一如の状態を呈するのは、恐らく日本獨特かと思はれます。

幼稚園では勿論紐でくくりつけるではありません。

『手おんぶ』です。

『○○ちゃん、おっつして。いゝ子ね、おっつして』なきこ、なだめるでせう。

それでもなか／＼泣きやまない時は『さあ、お歌をうたつてあげますからね』とまでいふでせう。さうして忘れかゝつたと思はれるやうなあの子守歌——保姆養成所ではこれは正式に習ひませんでした——を、今更一生懸命に、ほんたうに一生懸命にうたひ出すことさへあると思はれます。

さうすると、おゝ、だん／＼泣聲はやはらぎます。だんだんすゝり泣きになります。

『これは有難い』

その際、先生は心からさう思ふでせう。さうして猶も一生懸命にうたひつゞけるでせう。

五月の陽光は燦々して先生の顔を照らし、髪のははひに

にじみ出した汗の小さな粒に、光を與へます。背中はじつさりぬくもつてきます。うしろで組んで、子供を支えてゐる手は、やゝ痺れを感じはじめました。

けれども、さう／＼泣きやみました。

ホツミ長い溜息をついて、そつミふりかへつてみるこ、何のこゝろ！ いつの間にかスー／＼眠つてゐるではありませんか。

『まあ、眠らせるためにおぶつたのではなかつたのに……』そんな場合もあると思はれます。

おぶつてうたへば、大概の場合、大概の子供は、眠らな

いまでも泣きやんでしまふやうです。

そこで先生はかう思ひます。

『これよ、これ、泣いたら仕方がないから、これからこれにしませう。経験がさう教へたのですもの』

全くその通り。『経験がさう教へたのです』。しかもこの経験たるや、相当大變な経験であつたのです。

◇赤ちゃんに還る

ところで、その経験の内容を考へてみませう。

子供がさうおとなしくなるのは、否、おとなしくなるのを通り越して、うつら／＼と夢のお國にまで到達するのは、抑々さういふわけでせうか。

『幼なころに還る』は、大人の世界でよくいはれる言葉ですが、彼等は幼児で、現在幼なころによつて生活してゐるのですから、そんなころがありやう筈はありません。しかし赤ちやん時代は彼等に取つても過去のものなので、それに還るころはあります。時に幼児が、お母さんに對して非常にあまつたれたり、抱つこしてもらひたくなつたり、お乳をひつばつてみたりするのは、この表はれし思はれますが、先生の背中にかじりつきながら、子守歌を聞きながら、よい氣持になるのも『赤ちやん心に還る』ためだと思はれます。

事實、おぶふさいふころ、うたふさいふころ、又うたはれる歌そのものも、赤ちやん時代の再現ではありませんか。これで『赤ちやんころ』が起らなかつたらさうかしてゐます。うらなつかしい赤ちやん時代に還つて、遂よい氣持になつて、いつかうつら／＼になるのは當然のころでせう。

ここに問題があります。

一體子供は前を觀て、うしろを見ないころに、特徴もあり、意義もあります。過去に生活するのは老聾人のころ。子供は將來に活きるもの、活くべきものです。それをわざわざ過去に還すさいふのは、けつして望ましいころではありませぬ。

それが泣くのをやめさせるやうな場合に應用されるのは、赤ちやん時代の安易な氣持に退歩させるころで、あまやかす以外に何もない結果になるでせう。

幼児があまつたれてゐるころ、まあ、赤ちやんみたい。をかしいね、よくいはれるのに徴しても、この間の消息は察せられませう。

さういふ安易な氣持になるからこそ、幼稚園の先生の背中にゐるころを、いつかお母さんのそれと取りちがへて、スー／＼と軽いいびきを立てるやうなころになるのです。それだけではありません。

この方法は、形式からいつても、さうも適當とは思はれません。

關係を絶つころを形容して『背をむける』といひますが、おぶつた状態は正にこれではありませんか。

お互の細かい心の交渉は、さうしても顔を突合はさなければ生まれてきません。申すまでもなく、顔の表情が最もよく心を表はすからであります。

先生はあらぬ方を見つめて、子供は先生の後頭部に見入つて、それで相互の細かい心の交渉ができる筈はないでせう。先生がまごころこめていふ言葉の一つさへも、背中をむけてゐてははつきりはいらないうでせう。「泣くのをやめさせるさいふやうな大轉換——その子供に取つては——を

持ちきたすこんな場合に語られる言葉こそは、單に口から出て、耳に入るものではないでせう。目からも、筋肉の動きからも、否、九萬九千の毛孔からも語られねばならぬでせう。かくてこそ、心から心へ通ずるのだと思ひます。

こゝで癡入つたのは、細かい心の交渉からでなく、あまつたるい安易さからであります。そのスキートな味を味はつた子供は、多分その次に泣き出した時は、おぶはれるまでは泣きやめずまい。それが嵩するに、おぶはれるのを待つて泣いてゐるさいふやうな心理状態にまでなるでせう。それでこの子供は、この限りに於ては、幼稚園へ来たことによつて赤ちやんになつたさいふやうな、奇妙な現象を導き出さないとも限らないでせう。

さう考へても、この際おぶふさいふことは、理想的な方法さはいはれません。

◇アーン／＼禁制

泣きやめさせる第一段階は、聲を出して泣くこと——あのアーン／＼をさめることです。これに工夫を全力を傾けなければなりません。

有名な心理學者がいつた『悲しいから泣くのではない、泣くから悲しくなるのだ』さいふ言葉は、幼児のこの場合にはつ／＼眞理だと思はせられます。

アーン／＼さいふつてゐる間は、何をいつてもよく耳にはいりませんし、何をしてもその通りに感じません。自分のその聲に心を取られて、他を顧みる餘裕が出てこないのです。

屢々アーン／＼を大聲を張り上げてゐる子供をかへて、しきりに何かいつてゐるところを見ますが、恐らくそれは効果がないうでせう。かへられるのをただ窮屈さ感じ、いはれるのをただうるさいと感じるだけでせう。アーン／＼はやがてワーツ／＼さいふ絶叫に發展することは必定さいふつてよいでせう。

かうはしないで、もう少し自然な方法を採る向もあります。

『これを歌つてゐるうちに、だん／＼泣きやむだらう。かうやつて抱へてゐるうちに、自然に泣きやむだらう』かういふ態度がそれです。

しかしこれは消極的に過ぎます。泣くことが長引けば長引くだけ恢復も長引くのです。長く泣いた子供は、泣きやんでからさへ、いつまでもしやくり上げてゐるでせう。かうなるさなか／＼解決がつきにくいのです。

だから、出来るだけ聲を出す間を短かくするやうに仕向けること、働きかけることが必要です。

それにはさうしたらよいでせう。

◇透かさず抱く

やはり抱くのがよいと思ひます。

これは先生の顔ミ子供の顔を、まごもに向き合はせま
す。さうしてごんなに近くへでも持つてこられます。時に
よつては頬ミ頬ミをすりつけるごさへもできます。時に
よつてはその反對に、すつミ離れて、しげく見入ること
もできます。さうして全貌をうかがひ知ることでもできま
す。キツミ腕みつけるごさでもできます。又必要があればよ
そをむいて、しばらく無關係でゐることでもできます。兎に
角順應自在にいふべき便利な状態なのであります。

顔だけではありません。手の方もさうです。左右から伸
びて合はさつてゐるので、ふんはりごやさしく容れ
ておくごさでもできます。じつミ胸に押しつけてかへるご
さでもできます。或はギョツミ力を入れて、いつかな動かさ
ず、しつかりごおさへつつけるごさでもできます。又必要であ
れば手を解いて、高く支へて、膝の上に立たせるごさでも
できます。兎に角變通自在ごいふべき便利な状態なのであ
ります。

この顔ミ手ミを同時に聯絡して用ゐることのできるの
で、その効果は二倍になります。さうして順應ミ變通ミを
併せての自由な親密な接觸を保つごさができるわけであり

ます。

だから泣く子は、先づ抱き上げるごさがいよいよです。
さいつて、一聲でも張り上げたなら、さつそく抱くごいふの
ではありません。成るべく抱かないで済ます方がよいので
すが、さうも形勢不穩で、事、重大になるやうでしたら、
透かさずかうすることです。

抱かうごするミ「いや」ミ頭をふる子供があります。
それ以上に抱いても兩足をバタ／＼させる子供、ワツ／＼
ごひびく泣き出す子供もありますが、先生はそれに驚き、
負けてはなりません。さういふ時は、前述の「ギョツミ力」を
入れて、いつかな動かさず「ごいふ手の働き」じつミ近く
へ寄せる「ごいふ顔の働き」を併用する場合です。さうし
てみんなミ離れたしつかなごころへ連れてくるごさです。
これが門ごいふか、いごぐちごいふか、前提ごいふか、
兎に角これを基礎として、この上に立つて、いよく／＼相互
の個人的交渉がはじまるわけであります。(つづく)

時局下に於ける

私立幼稚園關係者の覺悟

猿江善隣館幼稚園長

藤野井行仁

今日われら國民に課せられてゐる重大課題は何んさいつても時艱克服のほかにはない。それは決定的に日常生活の各瞬間を支配し居らねばならぬ筈であり、その支配から免れて恣意的な課題なごに氣取られてゐる暇はないのが當然であらう。われ等の二十四時間の全精力はこれを擧げて斯の課題の解決に注がれてあらねばならぬ筈だ。

然るに今國民の實際を見るに存外要もない恣意的な課題に血道をあげて徒らに國內の相剋を招くが如き行動をとりつゝあるものもあるが、それはさう考へても時局即應の線とは相沿はないものであり、逆に時局に便乗して己れの宿望を達せんご意圖するものごしか思へないのである。少くごもかくの如き種類の行動に屬するものがあることごは殊ににごくしさを感ぜしめられる。しかもその恣意的行動が恰も國家の重要題目を趁うてゐるかの如

き擬裝を凝らしてゐる場合は尙更人の多くがこれを咎むるものがないので、それをいゝごごにしてゐるなごは全く許し難いごごせねばならぬ。

吾等は今ごんな職域にあらうご、ごんな仕事を思ひつかうごすべてはそれが時艱克服の關與になるであらう結論をもつてゐなければならぬ。

統後に於ける幼児保育のごごは時艱克服のためにも最も大切なものであるだけに幼稚園に關與する吾人はいやしくも慎戒を怠るごごは遂に吾人の存在を看過しておかぬであらう、自分のやつてゐる事が果して國家のためになるか、ならぬかそれは私意か公意か不斷に反省すべきである。

公立幼稚園の運営竝にその幼児教育内容についても吾人は種々なる問題を持つものであるが今はしばらくおき、吾人私立幼稚園關係者の反省を持ちたいごごは、私

立幼稚園が時局の推移に伴ひ、物價騰貴等のため經營難におかれ、身賣りしたいなきいふものゝあることを耳にするこゝであり、またそれを聞き傳へて、幼稚園なきいふものは名は美しいが單に糊口を業とする一存在に過ぎない。なきいふ放言する者さへあるこゝである。勿論斯の如きは極僅少ではあらうが、吾人幼児教育に關與するものは眞剣な檢討を要するものがあらう。最近は人口問題に關聯して幼児保護の問題があらゆる角度から取りあげられて來てゐるが、多年にわたつて幼児保育に努力がなされて來た私立幼稚園の運管指導については國家は何程の指導援助をなしたか、又私立幼稚園關係者がその聖職に何程の獻身的協力が拂はれて來たか此の際充分の研究を要するこゝになつたなきいはねばならぬ。

幼児教育の理論はその道の先達によつて早くから尊い論述研究が發表され公刊された著述も十指を屈して餘りあるが、さてその理論が實際に即してどの程度實踐されつゝあるかこの邊で研究者も亦幼稚園擔當の當事者も峻烈なる自己批判をしてよい秋ではなからうか。自ら省みて吾人は自己批判に餘りに臆病ではなかつたか恥ぢるのである。まゝ幼稚園教育に従ふものは幼児教育は神聖であるなきいふ觀念だけで表面體裁のよい形式に力をそゝいでその内容實態はなまぬるなきいふところがありはしない

か、かうしたこゝが起因となり最も發奮すべき今日尙活潑な發言がなされないこゝを淋しく思ふのである。

過去六十年の小學校教育が終りを告げて小學校が新に國民學校へ發足を見るこゝになつたが、新らしい教育は新らしい教科書と新らしい制度とにより新らしい効果が擧げられるものゝ期待をされてゐる、この時に當つて「昔は讀み書きそろばんだけで立派な人間がつくれた、今日は何かなきいふ教科書の改訂だ、制度の變更だなきいふが、それで立派な人間がつくれるかと思へば、うすつぺらな小伶俐な小才子しか出來ないぢやないか」さいつた街頭の聲に強ち同するものではないが、制度や教科書から蟬脱して教師と兒童との人格的交流にもつゝ重點が置かれるこゝにならねばせつかく小學校が國民學校になつても豫期の効果は擧げ難いであらう。

國家が多額の經費をかけた義務教育の國民學校に於てさへこの感を深くするこゝき、その爾前の幼児教育はまだまだ義務的にはなりさうにもなく、これらの幼児の教育は若干の公立幼稚園がある外は大多數心あるもの奉仕にまかせて私立の幼稚園設立の認可を與へてゐるだけであつたから、今日のやうな時局に當面して經營難に陥りフラクするもの出來てくるのも悲しい事ではあるが又故なき事ではないこゝも申されようし、當局も認可だけ

はしたものの、つまり出産だけを認めて其の後の育て方には親身にしてやらなかつたので今更指導なきさいつて乗り出しようもないさいつた處が當らずさも遠からざる現況であらう。然し今日こんな状態に私立幼稚園を放任して置いていいであらうか。

自ら私立幼稚園に關與するものが斯様な毒舌を弄するこゝは幼児教育の無効や不必要を提言するためではないので、この時局下に於ける幼児教育の普及徹底こそ最も大切であり國民學校教育の完成のためにも幼稚園さいふものが深き關聯があるから儻りなき現狀を申しのべて當局並關係者の眞劍なる關心を喚起したいからである。

巷間傳へるが如く私立幼稚園關係者が、その園の維持經營のためであらうが、敢て幼児の保護者の機嫌きづまをこつたり、一顰一笑に態度を更へたりする不甲斐なさを一擲して、もつこ使命の遂行に血みぎろの奮起が望ましいこゝこゝ、又この時局下にあらゆる苦杯をなめつても國家將來のため最も大切なる幼児の教育に精進しつつかある眞面目なる幼稚園の本然の有様について當局は勿論社會一般が充分なる理解を關心を持ち、その足らざるはこれを指導誘掖し、精神的並物質的に相當の援助なすの方途を講ぜられん事を希求するのである。私立幼稚園關係者が蔭でコソコソ當局の指導並援助の不足をかこち

社會の無關心な態度に不満を言ひつつも、はつきり公言する者の少ないこゝを淋しく思ふので斯業のため敢て一言するのである。

幸にもこのぶしつけな提言のうちに含む微意を取りあげられて、私立幼稚園關係者が、お互に脚下を照顧し深き反省を精進に相携えて起ち職域奉公に奮進する一方、當局も訓令や通牒の出し放しでなしに、現狀を調査し、充分なる指導援助を與へられんこゝを要望して止まないものである。

指導援助をするも尙且つ舊態依然たるものあらば、かかる者こそ幼児教育を蠱毒する輩であるから吾人關係者はこれ等の者に向つて幼児教育より退陣をせまるこゝも當局もその取締を嚴にせられんこゝを望むものである。

國民學校の實施とともにつて

及川ふみ

最初の國民學校の一年生をなつた今年の幼稚園の修了生も、やうやく學校生活にもなれて三々五々歸宅の途中幼稚園に遊びにくる。新しいかばんの中から一冊又一冊と順々目新らしい書物を出しては見せてくれる。

ヨイコドモ ヨミカタ コト
バノオケイコ カズノホン
ウタノホン エノホン

いづれも可愛らしい繪入りものばかりで、生徒のよろこびさうな本ばかりである。この人たちがこれ等の、書物によつて小さい國民としての修練にいそしむとき、かつての幼稚園での生活指導がそれだけそれき歩調が合つてゐたであらうかまひそかに考へさせられることである。昨年の夏文部省の保育講習においての倉橋先生の「國民學校

と國民幼稚園」の御講演によつて、幼稚園が國民學校の實施にあつて、幼稚園が國民學校と同一精神によつて充實せられ、かつ普及せられ、刷新せらるべきであることを拜聴した。それ以來我々直接幼児の保育の實際にあつてゐるものとして、具體的に各保育項目に互つて研究をつづけなくてはならないと考へた。

それにつき同志相寄つて去る二月八日に附屬國民學校の主事堀先生をわづらはし、先生を中心に座談會を開き、國民學校の低學年の理科と幼稚園の觀察について詳細にわたつた御指導を受けた。(幼児教育三・四月號掲載)

ついで四月二十二日には文部省の監修官鹽野先生について國民學校一年生の數についての懇切なる御指導を受け、カズノホン一につき實際的な御説明を願つた。これによつて、幼稚園での數觀念の指導の範圍、方法なきによつて進むべき道を教へられた。

ひきつゞき四月二十四日には東京高等師範學校の附屬國民學校の小林先生について、國民學校の一年生のウタノホンの指導の實際、音感教育の實際につき御指導を受けた。

鹽野先生のお話の詳細は、幼児の教育五月號及び六月號に、小林先生のお話は、同じく幼児の教育五月號に掲載されてゐる。お話を直接に伺ふことの出來たものもその御指導の精神を精神として保育の實際につき從來の保育に對し

ての刷新を考へるのは勿論であるが、本誌愛読の我々の誌友の諸姉も三先生の御高説を熟讀吟味して保育の實際案刷新の良き指針させられることをのぞんでやまない次第である。

さらにすゝんで國民學校の低學年ここに一年生の教授の實際につき親しく參觀して、その學校生活の實際の状態に精通しておかなくてはならないといふことは言ふまでもないことである。

今日我々保育の實際家は保育の實際案作成上、從來の保

育の實際を省みて、談話、唱歌、遊戯、手技、觀察等の各保育項目につき、その材料の選擇に、難易の程度、量の點、配列なきの點につき各地各園に最も適切なるものを自ら作りあげなくてはならない。又幼児の生活訓練については殊更に國民學校と同一精神によつて考究したものでなくてはならないことを痛感する次第である。要するに新らしく國民學校が實施されてゐる今日、我々保育者としても幼児保育の上に刷新せられなくてはならない諸點につき考究する事が目下の急務である。

經驗者の言

私は保姆生活十二年、十二年の故に他人は經驗者と呼ぶ。假に自らも經驗者と呼稱する所以である。

最近ある機會に若い保姆さんの手記を見た。先づその眞剣さを感ずるも感じ、更に昔の自分の寫眞を眺める様な、なつかしさを覺えつゝ些かの感無きを得ず、茲にその

十文字高女附屬幼稚園 留岡よし子

手記の一部を記して、「六月號に何かせひ」ミかねて命ぜられてゐた責を果したいと思ふ。

手記は始まる

「私は一體毎日何をしてゐるか。

あの純真な子供達、その一人として悪い子供がゐるだらうか、そんな悪辣ないたづらをした所で（少くも悪辣に見えた）その子自身に悪い所があるのだらうか、そんな理由でしたか、そんなはづみでしたか、私自身分つてゐないくせにその子を憎んでしまふ、そして一瞬後にすまないと思ふ。しかしすまない以後で思つてすむ事であらうか、あのカアツミした時の影響、それが恐ろしいのだ。それがいけないのだこんなちつづけな自分が、こんな恐ろしい幼児を一人前顔して預つてゐる良いのか、保育だの幼児教育だのもし私が他の人で、今の私を見たミしたら、あなたに良心があるならおやめなさい、こいはざるを得ないだらう。さう思ひつゝも止め様も云はず、おめ／＼毎日を暮してゐる一體私はどんな種類の人間か、私に何が出来るミ云ふのだらう。」

良心の叫びを新な思ひで聴く。併し神の様なこはいふものゝ又悪魔の様なさへいひたくなる幼児に接し、その悪の一面を見せつけられてカアツミするのは人間保母の止むを得ない自然ではないでせうか、怒るもよし、嘆くもよい、憎むも亦よしこいひたい。

が併し時が年が、やがて、「可愛い悪魔よ」ミ許せる様にして呉れるものらしい。

手記は続く。

自由遊びの指導、した事があるか、子供の心に満足を與へた事があるか、自由に伸び／＼遊ばせた事があるか、私の子供達は自由に遊んでゐる時は必ず悪い遊びだ、私はそれを止めてばかりゐるではないか、何故悪い遊びをせぬ様、良い遊びが出来る様指導しないのか。何故良い遊びに導いてやらぬのか、一度、いはれた事はすぐ「ハイ」ミ云ふ事をきくのよ、ミ云ひ乍ら毎日同じ事を二度も三度もする様な環境にしてゐるのは自分ではないか。一度悪い事をしても環境はちつとも變へず、そんな事をしてはいけない／＼ミいつてゐるではないか、それでさうして子供達が満足出来るか。

自由畫はさうか、あの自由畫帳を見るが良い。きの頁もめちやくちやだ、私は一人々々の子供達に心からあやまらねばならぬ。自由奔放な思想を矯めてしまつたのは私なのだから。

「私は繪は大嫌ひ」、大嫌ですむのは生徒の頃だ、生徒なら嫌ひなら悪いお點ですむ、今の私がそれで良いか、嫌ひなら一生懸命勉強すれば、良いではないか、嫌ひですましてゐてあの子供達にすむのか、私はもしこの次の世を背負ふ三十何人かの子供の、思想を表現しようとする繪の芽をつんでしまつた、あゝこれをさうしたら良いか、頭を下げてあやまつてすむこさか、あの子供達の一生に通じてすむ

事ではない、私はさうしたら良いのか。

觀察はさうか、事物の確實なる知識を興味の中に把握せしめる。理論丈は知つてゐる。

併し一度だつてこの一重大切な事を満足にしたことがあるか、第一自分自身何に對して確實な知識を持つてゐるか、今にして思ふ、私は一體學生時代何をして過して來たのであらうか、唯々吸々たるつめこみだつたのだ。皆忘れてしまつた。否、覚え込まなかつたのだ、私は自分自身何にも知らぬのにあきれてしまふ。

植物に對して、動物に對して、天文に對して、科學一般に對して、果ては常識に對しても、なんにも知らない。こんな事を自分で認めねばならないなんていふ事は自殺にもまして苦しい事だ、そして、その自分が、子供達に確實なる知識を興味の中に把握せしめようとするのだ。これが無理でなくてなんであらう。私は思ふ、私の子供が皆私の様になつたらさうしよう、それこそ親に對して所ではない、國家に對して申譯ない事である。あゝ私はさうすれば良いのか」

若き保姆さんの苦悶の姿がまぎ／＼と浮ぶ。それはやがて自分の會ての日の姿でもある。聽かう次を、

「手技に對しても同じ事だ、日本人の特有さ云つては悪いかも知れないが模倣のみだ、私は一體今まで幼稚園に關係してから自分で思付きの手技等さういふものを作つた事があ

るだらうか、すべて模倣のみだ、唯私は他人の考へた事を作る機械、作らせる道具になつてゐるのみ。それだけならまだ良いだらう、指導よろしきを得れば幼児は如何に楽しむか、例へ模倣であらうか幼児を満足させれば良いのだから……しかし自分の指導を顧る。私は一生懸命いけな／＼と思ひ乍らも、その結果の奇麗に出来る事を望んでしまふ。結果ではない道程だ、私は思ひつゝ又親達にはそれを云ひつゝ自分の心の奥にはきれいに出来る事を期待してゐる。そして途中思ひがけず奇抜な發案をする子供は、おこなく私のするまゝにしてゐる子供よりも、わづらはしく思つてしまふ。あゝなんかいふ事だらう、そして私はその子供達の想像力を奪つてゐるのだ。それに對して私の償ひはさうすればいいのだ。

談話はさうか、話はこても好きだ、子供達の目を見るに私はいつまでも續けてゐたい、しかしそれさへ模倣のみだ。模倣でもいゝ、それに依つて自分のものを作り上げる事が出来るなら。

併し私はたゞ眞似をしてやるのみ、創作なき全然浮んでこないのだ。私はさうしてかうロマンチックな心を持つてゐないのだらう。私の頭の中は空っぽなのだ、さうして私は本を讀まうともしない、私は心から怠けものなのだ、悲しい事だ。

唱歌にしても遊戯にしても皆同じ事、音感教育なき全然してない私、音楽に對してちつとも分らぬ私、眞似してうたふのみ、あうむも同じ事だ。みんなくも眞似のみ、遊戯も眞似て踊るあやつり人形も少しも變らぬ。あれよりもつぎ汚いのみ、リズム等分らぬ、つくづく情けなくなり悲しくなる。」

あゝ、こゝに至つて経験者も共々に長嘆息せざるを得ない。十年経れど惱みはつゞく、年毎に繰返す。

種々の技術、次々に發表される歌、遊戯、中々直ぐには自分のものになし得ない。

満足の出来る様に、やるさしたらぎの一つの事でも専門に日夜勵んでもまだ足りないだらう。一體世間は人間保母にどこまでを要求するか、自分に保母自身己を責めるのにかくも厳し過ぎるのに。私は密に許した、我力に限りあり、最善を盡して尙且然り、あるがまゝにあらしめよ。

再び手記

「幼児教育は恐ろしいものはない。今更に思ふ。私の賤たるやすさまじい、私は自分がヒステリックの要素を持つてゐるを認めてゐる。私は賤け方のなんであるかを知らない、まして幼児の心理なき、いふものは毛先程も分つてゐない。私は子供に對して愛の心を持つてゐるのかを疑ふ、……、は手記者」

この私が幼児の教育をしてゐるのだ、保育者として一つの要素も持つてゐない私が保育してゐるのだ、さう分つてゐながら私はぬけくも止め様もせず自分の仕事をしてゐるのだ。あゝ誰か私を頭から叱りさばしてくれたら止めろといつてくれたら。」

自分は子供達を愛してゐるのかいら……この根本的な悩みに苦しめられた事を思ひ出す八年目の頃だつたらう。漸く自分は本當に子供達が好きなのだ。我心に云ひ切れる様になつた時の云ひ知れぬ自己満足の喜びを今日再び味ひしめて、確に愛し育てた幼児等の顔を思ひ描く。

「幼児の爲に私のしてゐる事がこんな影響を及ぼしてゐるか恐ろしい。あの目を見よ、私は悲しい。何故か、皆みんな私の責任だ。あの子供達が大きくなつて、若し何等かの姿で間違つた事をしたら全て私の責任だ！」

手記者はかくも云ふ。保母は神ではないましてや二十そこくのお嬢さんだ……いや、だからこそ、かうした厳しい自己反省も、責任感も起るのだらう。今の自分に反省がないは思つてゐない、が私は敢て云ふ。

「あの子供達がもし何等かの姿で間違つた事をした、いしても私のせいではない、私この生活がなかつたなら更に大きな顔をしてゐたかも知れない」。

暴言か、うぬづればか……否、謙遜ださいはう、さにかく十年を経て神ならぬ我を知り又些の自信を持ち得た。

この手記より半歳の後、この手記の筆者は保姆をやめなければならなくなつた。

「幼児々々幼児、幼稚園で何をしたらう、私は育児の一刻も分つてゐなかつた。

あゝ私は幼稚園をやめてさうなるだらう。何に生き甲斐を感じればいゝだらう。」

「私の子供達よ許してくれ赦してくれ、あゝかういつて子供達の前に両手をつける私だつたら」

「あゝ憂鬱だゝゝ、家へ歸るささうしてかう気が重いのだらう、つまらないゝ何もかもつまらない。あゝ止めたくない、つゞけたい、このまゝやりたい、〇月さいふ月が来ません様に、何でもいゝからかうしてゐたい。

子供達！子供達！氣狂ひになりさうだ、何にも考へずに一日中朝起きるから歸つてから寢てからも子供さ一緒にゐたら……

なんでも良いゝ私は止めたくないのだから」

「止めたくないゝゝゝゝ、幼稚園にゆく日が一日ゝ減つてゆく、遂になくなるだらう。氣が狂ひさうだ、私はさうなるのだ、一日がもつゝ長かつたら、一日中子供達が側にゐてくれたら……」

私はこの良い仕事を捨てゝ何に生き甲斐をみつけるのか……」

止めたくない！この絶叫が私の心臓にひびく。
手記者よ、

あなたが苦しんだ保姆生活、悩みに悩んだ数年は決して決して無駄ではなかつた……あなたは本當に「いゝ先生」でした。それは誰よりもあなた自身の心の奥に記されてゐる筈です。

否、さうぢやなかつた、あなたに心から——夢中に愛された多くの可愛い瞳に、やきついてゐる筈です。更に幼い心を通して多くの親達に、そしてあなたが、すまなく思はれた國家が無言の感謝を送つてゐる事を手記を通して感じます。

さばゝゝ保姆生活が打切れるのだつたら又何をかいはんやです。

やめたくないゝゝ！それで十分ぢやないのでせうか。
やめたくない——さいはねばならぬ機會に出遇はず、ひたすらに、十年餘、悩みつゝも楽しく過し得た幸を感謝しつゝ。

(四、二八)

各地保育
會の活動

北九州保育會概況

門司幼稚園 松 村 茂

北九州ミ云へば數縣にも跨る廣大地域の様に聞えるが實

は福岡縣の一部分で門司、小倉、八幡、戸畑、若松、直方、

飯塚の七市ミ其の周圍の七郡ミを包容する眞の九州北端に

相當する一小地域の稱である各市夫々行政區劃は異にして

居るけれども相接觸した都市で交通も産業も不可分の關係

にある一ブロックである。所謂之の地域は鎮西小唄に「山

じや石炭、街には工場、港々にや船がつく」ミ云つた様に

地下資源に恵まれ海陸交通も利便であり最近は大陸關係に

依つて拍車をかけられて各種産業が勃興して居る然るに工

業都市の通弊ミして精神文化の方面はお留守である殊に幼

兒の世界に至つては産業の進展に反比の逆境を辿り誠に寒

心に堪へない慘狀である依て之の地域に散在して居る保育

關係者達は互に連繫を求めて保育研究會を催し爾來同志相

謀り會を重ねる内に組織も漸く成つて現今五十五箇百五十

名の加盟會員を得て北九州保育會ミ稱して居る次第であ

る。

北九州保育會々則抄

第一章 總則

本會は筑豊地方に於ける七市七郡の保育關係者を以て組織し北九州保育會と稱す

第二章 目的及事業

一、保育に關する研究會

二、保育に關する講習會

三、講習會

四、會員の表彰並に廢吊

五、見學及視察

六、其他保育事業上必要なる事項及親睦行事

第三章 組織

本會は統制上左の五支部を設く

門司支部(門司市、田川郡、筑上郡)

小倉支部(小倉市、企救郡、京都郡)

八幡支部(八幡市)

戸畑支部(戸畑市、飯塚市、嘉穂郡)

若松支部(若松市、直方市、遠賀郡、鞍手郡)

第四章 會員

- 一、正會員 各保育園設立者と保育關係者
- 二、贊助員 本會の目的を賛同し援助せらるゝ者

第五章 役員

- 一、會長一名 各市の教育課長又は社會課長の職に在る者を輪番に推戴す
- 二、顧問若干名 各市の教育課長並に社會課長の職に在る者を推戴す
- 三、幹事若干名 各支部長及副支部長を本會幹事とす幹事中小より幹事長一名を互選す
- 四、理事一名 事務所所在園長を以て之に充つ

會長	有光一	八幡市學務課長
幹事長	松村茂	門司幼稚園長
理事	大浦キミ	小倉幼稚園長
幹事	松村ミツノ	門司市門司幼稚園
同	横山八重	田川郡慈惠幼稚園
同	工藤キクマ	京都郡行橋幼稚園
同	米原ミワ	小倉市城北幼稚園
同	木戸重光	八幡市八幡協和館
同	眞田澄江	八幡市大藏幼稚園
同	坂田五月	戸畑市戸畑幼稚園
同	合田孝子	戸畑市戸畑託兒所

- 幹事 森 富美 若松市若松保育園
 - 同 水摩 源造 鞍手郡劍幼稚園
 - 同 大和 國子 直方市大和幼稚園
- 毎年定例の三大行事

一、春期國民學校との連絡會

毎年四月には保育滿了兒が數ヶ所の國民學校に分散して各々新しい學校生活に入るので各地方別に春期の學期初めに於て關係國民學校との連絡會を催し隔意なき意見の交換を行ひ天々の參考に資し好結果を收めて居る。

二、夏期講習會

毎年必ず夏期休暇中に保育講習會を開催し既に第七回も繼續して居る。倉橋先生を始め東京女高師の先生方にお願したり其他斯道の最高權威者の方々ばかりを招聘するこゝが出来て保育各項目に互り理論と實際との講演を受け會員達の素質を向上せしむる事を得て會員一同感謝して居る次第である。

三、秋期研究發表會

本會の中心行事とも云ふべきもので重點主義を採り毎年研究項目を定め五支部輪番主催の下に保育研究會を開き忌憚なき意見の交換をなし以て保育の徹底強化を期して居る。

會員表彰

一、普通表彰 滿五ヶ年以上五ヶ年を増す毎に其間同一園に在職勤續者に對し毎年定例の表彰式を行ふのである。

二、特別表彰 本會の爲め特に貢獻したる者又は幼児保育上拔群の功勞者に對し隨時表彰式を行ふのである。

奉祝記念事業

一、記念樹 昨年は二千六百年奉祝記念の爲め肇國の聖地宮崎縣より御賀玉之樹を取り寄せ各園に分配して植樹した。

二、記念雜誌發行 「北九州の幼児教育」を題し奉祝記念號を發行した。

三、記念表彰 教育の職にある事通算三十年以上の者十九名を選び記念表彰を行つた。

其他手技展や圖書展や又は傷病兵慰問會を催す等過去數年間の行事が夫から夫へ追憶されるが概要に留めて置く、尙近來各市に社會事業協會が組織され殊に新體制として北九州文化聯盟の結成があり、兒童文化協會は其一部門となつて活氣を呈し裨益される事多大となつて來た事を嬉ぶ次第である。

豆座談會 (二)

特定の子供とだけ遊ぶ子

年長組の或る男兒、同じ組の女兒と手をつないで、職員室に入り来る。

S保姆「あの子は、あの女の兒が大好きでいつもあの子とだけ遊ばうとしますか、」

倉橋「そう。僕の目にもついてゐますよ、時によつては、あの女の子を他の人が手をつないでゐると、拂ひのけることさへあるんですよ、」

K保姆「あの子の兄さんもそうでした。やつぱり一人の女の兒を可愛がつて、お話の時でも何の時でも「〇子ちゃん、こゝへおるでよ」と言つた調子で自分のそばへ呼ぶんです。」

あゝいふのは、フロイドの潜在意識でもつて解釋出來ないものなのでせうか？長い間、先生のお傍に居りながら、遂、今日まで、精神分析についての先生の御意見を何ふ機會が無く、いつか伺ひ度いと思つてゐたのでした。

倉橋「私は精神分析を斥けるものではありません。世の中のこととはみんなあれでいつてゐるんだと思つてゐます。たゞそれを大きく取り上げるのがいけないと思ひます。」

K保姆「精神分析のことを始終頭においてゐるのですけど、幼稚園では今まで一度も當てはまるやうな問題にぶつかつた覚えがありませんでした。」

倉橋「そうですとも。そして、尤も子供の問題にあれを當てはめてはいけません。」

K保姆「でもフロイドがあゝいふ解釋でもつて治癒させた精神病人も澤山あるやうです、ニールなんかも隨分應用してゐるやうですね。」

東京保育界の兩先人

——河合千代女史・由良せき女史——

河合幼稚園長の河合千代先生、成志幼稚園長の由良せき先生は共に昨秋、教育勅語漢發五十周年記念日に、幼稚園教育の功勞者として文部省より表彰せられた方々であります。〔編輯係り〕

河合千代先生の御事

河合幼稚園は牛込區市ヶ谷山伏町にあります。河合先生は今年七十歳におなりでございます。

先生は十八歳のお若い時から、五十餘年もの永い年月を、河合幼稚園の園長として名利をよそにたく／＼幼児の教育に盡されておいでになりました。

河合幼稚園は明治二十三年、牛込に創設せられました。その後明治四十三年に、元の建物を現在の場所へ移して經營せられておいでになりましたが、大正六年の頃、古い建物をこわして只今の木造に建てかへられたのでございます。ぎつしりした重みのある只今の園舎、つゞじの咲き映えてゐる趣きのあるあのお庭は、或る固い信念を持つておいでになつて、何物にもおかさねないさいふ先生の御人格と、共通の感じが致しました。

今でこそ幼児教育の重要性が社會の問題として取り上げられるやうになりましたが、明治二十三年さいふ時代に幼児の教育へ志された先生の御心持の中には、何か先生をしてさうさせた原因、動機さいつたやうのことがお有りのやうに思はれ、それについてお尋ねしたところ、只簡單に「私は小さい時から子供が好きでしたから。そして私は小さい時、兩親に亡くなられましたから」

と答へられました。併し、いろ／＼先生の御身邊の御話を伺つてゐる中には、先生をして幼児教育に向かはしめた御環境のある事に心づくのでございます。即ち、先生の御姉様が、芝山内にあつた麻布共立幼稚園に、近藤はま先生の許にお勤めになつてゐられ、先生はこのお姉様の後任として、その共立幼稚園に一年程お勤めになつて居られました。後、御姉様達のお勤めで獨立して河合幼稚園を始められたのです。その後も始終お姉様方が或ひは一緒に住まはれ或はお近くにおいでになつて、末つ子でいらつしやる先生を蔭になり日向になりして守り立てゝいらしたのは言ふ

までもありません。

「私立の幼稚園の經營はなか／＼六ヶ敷いものです」
ご先生は語られました。「最初は十一人程しか集りませんでしたよ」ごも言はれました。

「幸ひ私には父が私の爲に残してくれた遺産がありましてので、今迄かうしてつゞけて來られたのです」。

過ぎし三月十六日、この幼稚園の卒業生の手で、先生の古稀のお祝が學士會館で催されました。

「參會者が二百餘名ありましたが、皆さんお立派に成人されたのを見ましてほんごに嬉しく思ひました。軍人さんもありますし、實業家の方もありますし、又官吏の方もあります。みんな昔の佛を持つておいでになりながら、見違へるやうにお立派になつておいででした。卒業生の方は三千名位にはなると思ひますが、何しろ名簿もはつきりしませんでしたので……ご心からの喜びを湛へて仰言られたのであります」。

最後に幼稚園の園舎を拜見いたしました。各室には動植物の標本や掛圖が種々取り揃へられ、遊戯室には、先生の永年の保育生活の間にかち得られた數々の表彰狀が額にしてかゝげてありました。先生は

「私がかうしてかけたなりなきするのはひ嫌ですから、巻いて、神棚においたのですが、卒業生や親戚の者達がそれを

取り出して來て、かうして掛けて下さつたのです。「先生は嫌ひでも、かうしてかけておくご、第一、幼兒達の親が安心しますよ」かう云つて、私の好まないごもをしてしまひました。」ご謙遜せられる。

又その一つの額には、御親類に當る國文學界の耆宿、「汽笛一聲」「天に代りて」の作者故大和田建樹先生の御作になる河合幼稚園の園歌がかゝげてありました。

お奇麗に書かれてある額の字が、所々墨の色が薄くなつてよく讀めませんまゝに、先生に伺ひますご、先生は墨痕いごも鮮かに次の三首をお認め下さいました。

園歌

此そのにおひたつ松のわかみざり

雲るる峰のものごなるまで

おほしつる心をしりてますぐなる

節をなかへそ園の若竹

春ごごに色かをそへてさきいでよ

なほ雷なる花のおさな兒

いゝお字、いゝお歌、昔の方は偉いなあごしみじみ感じながら辭したのでした。

由良せき先生の御事

由良せき先生は今年八十三歳の御高齢でいらつしやいま

すが、なか／＼の御元氣で、今以つて成志幼稚園の園長として幼児の教育に専念せられておいででございます。成志幼稚園は現在は荏原區西戸越町にあります。

由良先生は明治二十二年に日本橋區濱町二丁目に私立成志小學校を創設せられたのであります。明治二十九年この小學校に幼稚園を併設せられ小學校と幼稚園を兼ねて經營しておいでになりました。その後小學校教育は日に月に進歩普及したので、由良先生は、最早小學校の必要なしとし、明治四十三年、斷然小學校を閉校せられ、爾後益々幼稚園教育の必要を感じられその經營に専念せられたわけでありませう。

大正十二年の大震災に、成志幼稚園も亦その災に遭はれ、現在の戸越に移轉、今日に及びました。

由良先生は眞に信念の方、意志の方、熱の方と伺つて居ります。名利の外に超然として、日夜心身を碎かれる尊いそのお姿は、先生の許にあつて同じ仕事に従事せられた人々の等しく崇敬せられるところ、又その師弟、同窓間の温情も特筆すべき醇風美俗と伺つて居ります。

先生の永い保育生活中の思出話の中で、年二回の春秋の遠足を無事に済した後保姆さん方とその日の遠足について語り會ふのがこの上もない楽しい思出であるとの御話で御座います。

又出身幼児が成長してその結婚の通知に接した時、又は今回の事變に應召、國家に御奉公を果し無事歸還の通知に接した時は、この上もなく嬉しいとも仰せでございます。

御高齢にも拘はらず鏗鏘として居られた先生でいらつしやいましたが、昨年末軽い腦溢血にて右半身不隨にかゝられたと伺つて居りますが、頂戴いたしました御芳書なき、なか／＼のお達者なもので、先生の御人となりがよく推察出来るのであります。

只今成志幼稚園は由良先生が園長で、御長女が副園長（小學校教育に長年従事せられた方）十三年勤続の保姆一名お孫様二名（東京昭和保姆養成所卒、及帝都教育會保姆傳習所卒）で經營せられ、日に月に隆盛に赴いておいでと伺つて居ります。

頂戴した御書簡の終りに、先生御自作の御歌が認められてございました。

こりいて、功もなきにはからずも

み恵み浴す老のおもなさ

フレーベル賞 入選童謡

佳作 お 約 束

河 上
フ
ミ

一、何時ものポストの曲り角
指きりませう

歸りませう

一二三で歸りませう

二、あしたも仲よく遊びませう

指きりませう

歸りませう

きつこよきつこよぐんぐんでせう

佳作 僕の友達

毛利家

一、僕の友達 元氣です
みんなで かけくら
ようい さん
太郎さん太郎さん
もう少し
次郎さん次郎さん
がんばつて
さつさつ、さつさつ
かけてゆく

二、僕の友達 元氣です
みんなが おすすめ
はつけよい
横綱 大關
前頭
みんな勝ちそうな
顔ばかり
はつけよい のこつた
はつけよい。

佳作 ゑ ツ ケ タ

加茂 幸子

一、ボクノミツケタスズメノス
カハイイアカチヤンガクビダシテ

オクチヲソロヘテナイテキタ
ビイビイビイト

オナカガスイタヨオカアチヤン
ハヤクゴチサウチヤウダイナ

二、ワタシノミツケタアカイハナ
ミドリノ草ニカコマレテ

オクビチマゲテサイテキタ
オハナシシタソニ

ナンノオハナシスルノデセウ
ツツトキキマシヨミミヨセテ

雨の日に

附屬幼稚園

清水光子

四六

又雨の多い季節がまゐりました。昨日も、今日も雨の
日が続く。天候に氣分を支配される事の多い子達をき
もちよく遊ばせる手段。いふのもおかしいのですが、種
つきてしまひます。あてつこ遊び、なぞくあそび、しり
こりなき種々に趣向をかへて、椅子こりなきの運動的な遊
びの間にこり入れてしてみます。倉橋先生がいつも仰言
るのですが特別にかまへない觀察がよくたもごくその觀察
いふ様なこを例にお引きになりますが、こんな觀察が雨
の日をかへつて幸こ出来るこもあります。觀察は智識を
得させるのではない、態度をつくるのだ。先日の座談會で
も力を入れて伺つたこでした。あれやこれや考へ合せ
て、本當に平凡で馬鹿々々しいやうなこです。くれぎ雨の
日の遊び二つ三つをしたまゝに次に。

ひえ時き

貝殻、空罐(こ)言つても今は少いのでクリームやポマード
なきのびんの蓋を用ひました。に古綿少々、又は水を吸ひ易
い紙を敷いてそれにひえをまきます。絹絲草も結構です。
子さも達銘々に一つづつ持たせます。随分嬉しさうです。
貝殻から可愛い芽が揃つて出ます。毎日霧吹きて水をか
けて樂しみます。少しのびたら間に簞笠をつけた人の形
を、ひごこ紙の切端で作つて立てます。一寸面白いもので
す。

貝殻角力

はまぐりの貝殻、あさりでもよろしいのですが、大小い
ろく、なのを一枚づつに分けてきれいに洗つてかわかして
置き、それを一枚づつ向ひ合せて二人以上でめいぐ一枚
づつ持つて指先で押すやうに弾いて、相手の貝殻にかぶせ
つけします。かぶせたら勝です。一人づつ順に弾き勝負を

きめます。簡単なやうですがすべつたり、それたりして容易に勝を制するこゝが出来ません。角力のやうに中で強い貝があつたりして、大きい貝必ず強いに限らないのも面白い、貝の模様によつて色々名がついたりします。自然に貝殻の觀察が出来るやうです。

石落し

お庭の砂利石の中できれいな石を拾ひつこした事がありました。赤、緑、白、黒に紋のあるの、なまじつも平氣で知らずに踏んでゐた細い石の中にこんなきれいな石があつたまじふ驚きと喜びに、その石を洗つて取つておきました。雨ふりの或日それを空き箱の上に竝べて或距離から紙をたまにしたゴム鐵砲でうつておきます。少し丈夫な紙でこしらへたのでしたら紙飛行機で爆撃しても面白いのです。又ひご竹で作つた弓でもいゝのですけれど少々あぶないので紙鐵砲でした。石の色によつて點をきめ、點をつけて點取りあそびをします。これは男兒に喜ばれます。

雷ごっこ

私共の幼稚園は床が板です。板にはいろ／＼な木目があつて、見る／＼中々面白いものです。机や椅子を少し端によ

せて床の見えるやうに廣くします。そしてみんなで木目を見て白つばい所や黒つばい所粗い縞の所や水の流れのやうな所、を山さか川さか海さか原つばさかにきめます。よくわかるやうにヤマ、ハラツバさいふやうに白墨で書いて置きました。みんなまはりに腰掛けて誰か一人雷になります。雷になつた人はゴロ／＼／＼／＼と言ひ乍ら山、川なききめてない所を歩き、又は走りまはります。そしてきめてある所に入つて止りドシンと言ひます。その時まはりの人は大いそぎで顔を伏せて小さくなるのです。それを忘れたり、後れたりしたら、その人が次の雷になるのです。父雷がドシンさいはずに山や川に入つたら何度も雷をつづけます。これは運動的な部分があつて、ふつうの雷あそびより面白いやうに思はれましたのでかいてみました。

(三九頁よりつづく)

倉橋「併しニイルなんかは随分變つてゐる人ですよ、凡て學説を考へる時には、その人といふものを頭に置く必要があつたね、

それよりも今のあの子供の問題では、折角く同年齡の子供の大勢ある、幼稚園といふ環境に居りながら、特定のたゞ一人だけ遊ぶといふことは折角の機會があるのに、自分から生活をせはめ性格を狭めることになるので、その點を私は憂へるのです。」

八百屋遊び

誘導保育の主題

麥畑の麥の穂が青空目がけて伸びて行く五月、僕等だつて私達だつて伸びずには居られない五月です。お庭に出れば、つゝじが眞盛りですし、お砂場に注ぐお日様の光は、藤の若葉をすかして美しい緑色です。本當に毎日／＼が楽しくて仕方のない今日此の頃、花の組では相變らずおまゝ事が大繁盛です。男の子も女の子も一緒になつて色ざりざりな御馳走を作つて呉れます。

盛な需要？の爲、毎日のやうに笥を持つて、おまゝ事材料を求めて歩く子供達、さうした子供達の生活から自然八百屋さんの必要が生じて來ました。さう、お部屋に八百屋さんを作りませう。おまゝ事のお母様やお姉様を買ひにいらつしやる可愛い八百屋さんを作りませう。さう考へつた丈で子供達はもう作り度くてたまらなくなりました。

僕はリンゴ、僕卵、僕は大根作り度いの、私はかぶ、私は苺……その他ささいも、じゃが薯、さつまいも、ゑんじう豆、隠元豆、ねぎ、玉ねぎ、人参、ごぼう、連根、南瓜、

麴町區番町幼稚園 岩 本 三 よ

冬瓜、キャベツ、白菜小松菜、ほうれん草、ミウがらし、たけのこ、なつみかん、みかん、バナナ、柿、すいくわ、ネーブル、さてはしらたき、こんにやくまで、子供達の口からさび出して、御相談會の時先生を吃驚させました。(この中から季節の物丈選んで黒板にかいておきました)

こんなにも氣負立つて誘ひ出されて來た子供達の製作慾を上手に導かなかつたらそれこそ保姆の責任です。

翌日は早速、新鮮なゑんじう豆を求めて來て子供の机の上に、のせて置きました。(この遊びはあくまで觀察に根柢をおいてし度いと思ひます)茨をむいたり、匂をかいたり、色を眺めたりし乍ら、子供達と一緒に作り方を考へます。

材料の點は保姆が深く考慮して十分な注意の下に、ミウへてやる必要がありますが、作り方に至つては、押しつけ主義はやめて、出来る丈、子供達の頭からひき出してやり度いものと思ひます。子供の力を過小視する事は過大視して重荷を負はせるのと同じ位、不可ない事だと思ひます。

子供は時に大人が驚く程な工夫を示す事があります。唯、大人は之を整理してやる必要はあります。……

大體塊形のものには新聞粘土で、その他の物も古裏半紙、古模造紙、包装紙等出来る丈、廢物を利用して作り度いと思ひます。

新聞粘土が乾いて著色します時の嬉しさうな事。出来たものは夫々まごめて箱なごに入れておきます。

だんく美味しさうなお野菜がまゝのつて行つて開店の日が思はれる三層皆のお仕事も楽しくなります。果物も野菜も使つた後は保姆の家庭に流用出来ますから、一つ残らず、實物を見せて作らせます。

トマトさんのお唱歌を口誦み乍ら、お机の上にお日様に輝くトマトを眺めつゝ粘土をまるめる子供達の頬は、トマトさんに負け無い位よい色です。お天氣の良い日にはお庭でお仕事するのも度々です。

お野菜が八分通り出来上つた頃、お店作りの相談を致します。年長組ですから、子供に、設計させ度いと思ひます。

幼稚園の往復に八百屋さんのお店を觀察して来て、二三日がかりで設計致します。大工さんの大好きな男の人達が大喜びでお店を作つて呉れる事でせう。こゝには先生の手が随分加はりますが、飽く迄子供を主にし度いと思ひます。

正札や包装紙やお皿は女の人達に作つて貰ひます。目方賣

りに必要な秤も作ります。

この製作は相當長い事かゝりますから、興味を中斷させない様、保姆は細心の用意に注意が必要です。

出来上るのは六月の末頃でせうか。お部屋の明るい所に場所を占めて、皆で美しく飾りませう。

開店の時の子供達の躍り上るやうな喜びが、目に見えるやうです。

然し保姆にまつては、此の製作の過程こそ、無上の喜びであります。

X X X X X
げに誘導保育……

八百屋遊びは、製作慾を誘ひ、従つて、製作を、又、觀察、工夫創造、持續性、協力の態度、等々々、時にはお唱歌をも、お話をも誘ひ出し、毎日の生活の中に、綜合的に、且つは自然に、導いて行つて呉れます。

(終)

月刊「幼児の母」に就て

五〇

幼稚園の家庭教育指導のはたらきの一助にも、昨年一月、月刊「幼児の母」を始めてから、もう二年になります。毎號甚だ出来ませんが、それでも廣く各地幼稚園の御賛同を得て、月々、保護者へ配つて下さる方が多くなりました。

あんな小さいものですが、従つて内容も簡單至極のもですが、毎月一萬數千のお母さんに讀んで貰へるご思ふこゝ、大によこんでゐます。ほんの四頁さいふのもの、忙しいお母さんの立讀みにもさいふ、初めからの計畫で、手にされる方は皆、讀んで下さるこゝ、これが何よりなのです。

就ては、従來の方々は勿論おつゞけ願ひますし、新しい方々にもお願ひいたします。尙ほ、今までは毎月「幼児教育」で御覽の上の註文を本體に願つてゐましたが、もう大體お分り下さいましたこゝと思ひますし、月々の御申込みは、皆さんの方にも御手數の多いことですから、半年分なり一年分なりまきめて御注文下さるやう願ひます。常方でも印刷部數の豫めきまつてゐるこゝが、時節柄必要になりましたのです。それで新しい幼児の入園から新たに御配布の方も多いと思ひますから、四月を初めとして、四、五、六、七、三ヶ月を一期、九、十、十一、十二、三ヶ月を第二期、一、二、三、三ヶ月を第三期としてまきめ

た方が御便利かと思ひます。一年拂は十一ヶ月分。

申込規程

一、御註文は十部を一單位として、實費を左の通り申受けます。

○十部 金貳拾錢（一部貳錢）

○送料 十部まで三錢 二十以上送料不要

○十部以下の端數はおこしはりします。

一、御註文の節は部數三何ヶ月分さいふこゝ、御送り致す宛名を特にはつきりお書き記して下さい。

一、右御註文のお申込みと同時に必ず前金でお拂込み下さい。本會の振替口座（東京一七二六六番）をお用ひ下さるのが御便利です。

一、お申込みお拂ひ込みは、東京市小石川區大塚町東京女子高等師範學校附屬幼稚園内、日本幼稚園協會宛。

序に甚だ立入つたこゝのやうですが、御利用の仕組は（イ）幼稚園が保護者に無料で配布される場合、（ロ）實費を保護者銘々の負擔さなざる場合、（ハ）幼稚園内の保護者會或は母の會等が費用の負擔をなざる場合等、その他いろいろの仕組があらうと思ひます。

充分御利用下さい。

幼児の 母



昭和十六年
六月

活氣づく子ら

お子さん達が、新らしく幼稚園児となり、或はまた、新たに年長組幼児となつてから、既に二ヶ月に餘ります。この間に、お子さん達は、幼稚園でどうされたでせう。お行儀もよくなりましたらう。しかし、それは大したことではありませぬ。唱歌も覚え遊戯も上手になつたでせう。しかし、それも大したことではありませぬ。たつた二ヶ月、そんなに著しい仕込まれ方をしたとしたら、却つて心配になる位のことではせう。

しかし、この二ヶ月餘りに、お子さんが見違へる程活氣づいたことは、誰の目

にも明らかなことです。折からの五月六月の自然の、ぐんぐんと伸びてゆき、むくむくと盛り上つて來るのと全く同じく、ぐんぐんと元氣になり、むくむくと意勢よくなつて來ました。あの大きな聲で歌ふのを聞き、なさい。あの強い歩調で遊戯するのを御覽なさい。あの逞しさで飛んで來るのにぶつからして見給へです。お子さんは幼稚園へ來て、上級の子になつて、全く見違へるやうになつたやありませぬか。教育は與へますよ。教へますよ。しかし先づ生命を育てますよ。育つ生命に機會を供するといつた方が正しいでせうか。兎に角、愉快ぢやありませんか。

幼稚園から

○お子さんが、幼稚園から歸られたら、よく顔と手を洗つておけて下さい。幼稚園でも、一應洗はせてお歸へし、ますけれど、なんといつても汗ばみもしませうし、ほこりもつきませう。だんぐん氣候が蒸して來て、からだか汗ばんでるさうでしたら、シヤツをぬがせてふいておけて下さい。

○お子さんが歸つて、疲れてゐるようだったら、三十分程でも寢をさせて下さい。何しろ、幼稚園では勢一ぱい遊ぶんですから、それにだんぐん夏めいても來ますし、おひる過ぎには一寸ぐつたりするでせう。そういうふ時の寢は、いろいろの點でいいことです。但し、疊の上のごろ寢はいけません。ちやんと薄い蒲團でも敷いて下さい。薄い掛物でもかけて下さい。風をひかさぬやうに。

○この頃の燃料不足に、贅澤もいへませんが、入浴も出来るだけ度々。

母の
講座

わが子を良い子に

六 人の好意をすなほに受取れる子

倉橋惣三

今回は大層長々しい題をつけました
が、簡単にいへば、すなほな子にといふ
ことです。たゞ、すなほといふ言葉が随
分色々に使はれてゐて、おとなの勝手に
なる都合のいゝ子といつた風に註文され

たりしてゐることがあります。子どもは、
たゞおとなしいばかりが望ましい譯でも
ありません。少しはわがまゝもよし、強
情も頼もしいところがあります。自分と
いふものを置き忘れたやうな子や、いひ
なり放題になる紙雞さんのやうな子が、
良い子ともいへますまい。殊に、幼児期
はそろ／＼自分といふものがたまりか
けて来る時で、柔和々々と、無氣力な骨
なし子では困ります。

そこで、その取り違へのないやうに、
何にすなほなのかといふことをとわつ

つたのです。そこで先づ私の意味を申し
てみますと、いゝ頭とは、合理にすなほ
な頭ですし、良い子とは、人の好意をす
なほに受けとれる子なのです。

さて、どうしたことせう。世には合
理をそのまゝに受け取ることの出来ない
頭があります。それは多分固い頭か、い
びつな頭でせう。丁度、曲つた車が、ま
つすぐなレールの上を、まつすぐについ
てゆけないのと同じことです。さういふ
頭は、折角の道理を學ぶことも出来ない
のです。甚だ困つた譯ですが、人の好意
をすなほに受入れることの出来ない性情
は一層困つたことです。ゆがんで取り、
ひねくれて取り、又、戸をしめて拒んだ
り、こちん／＼にはねかへして仕舞つた
りするのです。さういふ人間が世に少な

手製
菓製 お八つ

厚生化学研究所
國民栄養部 佐々木 理喜子

今月は新馬鈴薯や、剥豌豆が出ますの
でこれを使つて美味しいお八つを作りま
せう。

【馬鈴薯のパン】

材料 馬鈴薯一〇〇瓦(中一個) メリケ

ン粉一五瓦 ベーキングパウダー小匙一

杯 砂糖五瓦 鹽少々 以上で一五五

カロリー

作り方 新馬鈴薯もきれいに洗つて三つ
位に切り、蒸して裏漉します。そして砂
糖と鹽を加へます。メリケン粉とベーキ
ングパウダーをふるつてよく混ぜます。

これを馬鈴薯の中にまぜて、水氣の不足
の時は少量加へ、「耳たば」位のかたさに
こね、三つ位に丸めて、御飯蒸しで十分
位蒸します。下に濡布巾を敷き、ふくれ
ると附きますから一つ一つはなして並べ
ます。

【バナ、のクリームかけ】

くないし、子どもに既にさういふ傾向が見えたりします。悲しいこと、あはれなことです。人間は互の好意の中に人間らしく生長するもので、それがすなほに受け入れられないことは、その子の人間性の發達の上の大問題です。又、折角の好意を受けないでは、人の世の幸福を得られる筈もないのです。

ところで、人の好意を受けられるのが人間の當りまへなのに、それが出来ないのは何故でせうか。生れつきの變質は別として、心が妙に複雑化されてゐる爲です。つとめて心は無邪氣に、子どもらしい單純さに保つことが大切で、その爲には、意地悪くいぢめられたり、皮肉に取扱はれたりすることが大禁物であるのは素より、あまりひつゝこい愛情に弄ばれることも有害なことです。好意に馴れるといひませうか、愛の増長といひませうか、とにかく、好意への感じが、ぶくなるのです。これは、裕福な家の子や、人ずれしてゐる都會の子などによくある例で、注意を要することです。

それから、何より一番注意すべきことは、周囲の人達が、其の子の好意を受けてやるかどうかです。子ども殊に幼児は淡いながら清い好意を豊にもつてゐるものです。そのあらはし方は拙であつたり粗であつたりしますが、心では、なかなか好意を示して呉れることが多いものです。それを受け取られると否とは、子どもその時の心もちに對して大問題ですが、それと共に、自分の好意を人に受けられることによつて、人の好意を自分も受けるやうになり、その反對も亦起るのです。おとな殊にお母さまが、子どもを愛し、好意を與へることは常であります。が、どうかすると、我子の好意の受け入れ方は足りないことがあります。人への好意はいろいろですが、その人のかすかな好意でも見落さないで受け入れ、嬉しく思つてやること程、大きな好意はないでせう。その經驗は、自分ですると共に、親にして貰ふことは、子どもとして何よりの幸福であるのは勿論、大きな人間教育をなされることです。

材料 バナ、二〇瓦、皮を剥いて中位一本、米八瓦、人蔘少々、砂糖五瓦、鹽少々、さくらんぼ一個、以上で一六六カロリー

作り方 バナは皮を剥き一本を三つ位に切り薄い鹽水にしばらく浸けます。米を二時間水に浸け、軟くして挿鉢で播り、浸水でのばしてから火にかけます。水加減も注意して濃目の糊様のものを作ります。此の中に人蔘を煮て播りつぶしたのを加へ、砂糖、鹽を加へて赤味がかつたクリームを作ります。バナ、を皿に盛り、冷したクリームを上にかけて、さくらんぼを一個のせます。メリケン粉があれば、米の代りに作つて下さい。なほレモンエッセンスを少し加えるのもよろしいと思ひます。

【干うどんのクリームかけ】

材料 干うどん三〇瓦、剥豌豆五瓦、夏みかん(2)のクリーム、以上で一五三カロリー

作り方 干うどんを茹で五分位に切り、青茹の豌豆と夏みかんをほぐした實をあしらひ、(2)のクリームをかけます。

おもちゃ大學 I

1. 自然物おもちゃ

おもちゃといへば、店で買つてゐるもの、お金を出して買つて来るもの、その中でもいゝのは、値段の高いもの、かうばかり思つてゐる人が多くあります。そりやあ、高いおもちゃの中に、立派ないゝおもちゃが澤山あります。しかし、それだけがおもちゃではありません。それより寧ろ、おもちゃとして作られてゐるのではない、野原や畑や海濱などにある自然物が、此上もない、いゝおもちゃになるのです。昔の子は、多くさういふもので遊びました。今でも、村の子は、さういふもので遊ぶことをよく知つてゐます。海村の子のおもちゃは、貝殻です。海草です。山村の子のおもちゃは、木の葉です。木の質です。野原の子のおもちゃは、草の葉、草の莖、草の質です。それなそのまゝ持つて遊ぶ遊び方もあれば、それらを用ゐていろ／＼のものを作つて

遊ぶ遊び方もあります。その面白さは、子どもが無限の想像と工夫との興味で、きまりきつた、店のおもちゃの一定の興味及ぶ處でありません。

子どもに自然物を與へませう。そして自分でいゝおもちゃを作り出させませう。町の子でも、自然物さへ充分與へられ、何んとか工夫しては遊びませう。たゞ、お母さんが、さういふ遊び方に興味がないと、充分よく指導することは出来ません。惜しいことです。さういふお母さんは、おもちゃといへば、お金で買つてやるよりほかに能がない人です。

2. 不完全おもちゃ

ものは何んでも完全なものがない。不完全の方がいゝといふのは可笑しい言ひ方のやうですが、おもちゃに限つては、そこに立派な理屈があるのです。店で賣つてる、殊に値の高いおもちゃなどは、それは／＼驚くばかり精巧に出来てゐますから、その點ではいゝおもちゃに相違ありませんが、しかし、それでは、子どもはそのおもちゃに遊ばせて貰ふだけで、ほんとうに自分の心でおもちゃを面白く

使ひこなしてゆく、きまもありません。いはゞ想像も工夫も動かせようがないのです。ですから、不完全なおもちゃの方が却つていゝといふことになります。

同じ自動車おもちゃでも、安い木製のものなにかに、子どもが自在に想像で補充して楽しめる點が多かつたりします。更に同じ意味で、お母さんの糸巻、お座敷の茶托、お父さんの鉛筆、帳場の帳面、一つとして、よいおもちゃにならないものはありません。

同じ意味を少しひろげますと、店で賣つてるおもちゃにしても、形の完成してゐるものより、たゞへば積木とか、組立ものとかの方が教育的値うちが多いのです。これは不完全といふ譯のものでもありませんが、餘り出来上つた精巧な子どもをちつと遊ばせて呉れるおもちゃばかり與へず、子どもの方で心を動かさせて遊ぶおもちゃを與へることが、實は親の心づかひが大きいといへませう。たゞお母さんが、その遊び方を誘ふ力がなくては、何んとするとも出来ません。困つたことです。

日本幼稚園協會編輯 幼兒の教育

會長 東京女子高等師範學校長
 主幹 東京女子高等師範學校教授
 附屬幼稚園主事 倉橋 惣三
 下村 壽一

日本幼稚園協會規則

第一條 本會ハ幼児教育ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ日本幼稚園協會ト稱ス

第三條 會員タルラントスルモノハ幼稚園ニ關係アルモノ又ハ幼児教育ニ篤志ナルモノトス

第四條 會員ハ會費トシテ一ヶ月金參拾五錢ヲ齎出スヘシ、會員ハ無料ニテ本會發行雜誌ノ配布ヲ受ケ又本會ノ事業ニ關シ諸種ノ便宜ヲ受ク

第五條 令聞名望アル人ニシテ本會ノ事業ニ裨益アリト認ムルトキハ特ニ請ヒテ客員トナスコトアルヘシ

第六條 幼稚園ニ關係アルモノニシテ本會ノ事業ノ爲ニ特ニ盡力ヲ與ヘラル、モノニ請ヒテ地方委員トナスコトアルヘシ

第七條 本會ハ毎年一回總會ヲ開ク。但協會ニヨリ臨時休會スルコトヲ得

第八條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ
 一、幼児教育ニ關スル研究及ヒ調査
 一、幼児教育ニ關スル講演會及ヒ講習

會ノ開催
 一、雜誌發行(毎月一回)
 一、幼児教育ニ關スル圖書刊行
 一、保姆就職及招聘ニ關スル仲介
 一、其他本會ノ目的ニ裨益アリト認メタル事件

第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
 會長 一名 會務ヲ總理ス
 主幹 一名 會長ヲ補佐シテ會務ヲ掌理ス
 幹事 若干名 會長ノ指揮ヲ受ケ會務ヲ分掌ス
 評議員 若干名 重要ナル事件ニ關シ會長ノ諮詢ニ應ス

第十條 會長ハ客員中ヨリ推薦スルモノトス
 第十一條 主幹 幹事 評議員ハ二ヶ年ヲ期シテ會長ヨリ推舉スルモノトス
 第十二條 本會ハ必要ニ應ジ特ニ委員ヲ設ケ又ハ書記ヲ雇入ル、コトアルヘシ
 第十三條 本規則ハ總會出席會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラサレハ變更スルコトヲ得ス

定價

ヶ月分	金參拾五錢	特等面	一頁二等面	一頁
半年分	金貳拾錢	金貳拾圓	金拾圓	拾圓
一年分	金四圓貳拾錢	金拾圓	金五圓	一頁以下
拾貳冊送	料共	金拾圓	御新	り
拾貳冊送	料共	金拾圓	御新	り

廣告 神田區駿河臺ノ三品田 廣告社に御申込下さい

(外國行郵税は一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい)
 昭和十六年五月二十八日印刷納本
 昭和十六年六月一日發行
 幼兒の教育 第四十一卷 第六號

不許複製 禁止轉載

編輯 倉橋 惣三
 發行所 東京市本郷區駒込林町百七十二番地
 印刷者 柴山 則常
 印刷所 東京市本郷區駒込林町百七十二番地
 振替口座東京一七二六六番

發行所 日本幼稚園協會

東京市小石川區大塚町三十五
 東京女子高等師範學校附屬幼稚園內

注 文 規 定

- 一、本誌御注文の方は凡て前金(郵税共)で願ひます。(郵券代用の場合には總て一割増)
- 一、御送金の場合はなるべく振替貯金で振替口座東京一七二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます。
- 一、送金の節には第何巻第何月號より第何月號迄と明記せられたし。
- 一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきで御申越を願ひます。
- 一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帯封に前金切の印章を押捺いたしますから其節は早速御送金を願ひます。
- 一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひます。

昭和四年五月十五日第三種郵便物認可
(毎月一回發行)

昭和十六年五月二十八日印刷納本
昭和十六年六月一日發行

定價參拾五錢

目書行發館ルベールフ



保 育 叢 書

倉橋惣三先生監修

四六判總布本綴
各郵定價金一圓
送料六錢

- 第一編 幼兒の爲めの人形芝居脚本 菊池ふじの先生共著
第二編 自然物おもちゃ 徳久孝子先生共著
第三編 幼稚園の手艺製作 膳眞規子先生著
第四編 實驗保育學 及川ふみ先生著
和田實先生著

幼 兒 性 行 評 定 尺 度

淡路圓治郎先生著

定價金六一錢圓
送料六一錢圓

幼 兒 發 達 檢 査

淡路圓治郎先生著
牛島義友先生共著
吉田虎彦先生著

定價金六一錢圓
送料六一錢圓

農 繁 託 兒 所 の 經 營

倉橋惣三先生共著
緋田工先生著

定價金三錢圓
送料三錢圓

實地踏査に基づくフレーター全傳

高市慶雄先生著

定價金一圓五十錢
送料六錢圓

幼 稚 園 律 動 遊 戲 曲 譜 集

大阪市保育會編

定價金二圓冊

附 記憶感覺競争遊戯・動作篇

構成々分を主としたる幼稚園遊戯の保育要諦

大阪市幼稚園共同研究會第六區編

第一卷 動作集 (金三圓)・第二卷 曲譜集 (金二圓)

子 供 の 舞 踊

石井 漠先生著

定價金二圓五十錢
送料十錢圓

シ ル エ ッ ト の 作 り 方

鈴木 重章先生著

定價金一錢圓
送料六錢圓

食館ルベールフ 社會式株

本社 東京・神田・二町保神・電話(33)六三二六番
大阪・東區・五町後備・電話(24)八三九七番